

三郷町教育委員会
教育に関する事務の点検及び評価報告書
(令和2年度実施分)

令和3年9月
三郷町教育委員会

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項の規定に基づき、令和2年度実施分の教育に関する事務の点検及び評価を行いましたので、その結果をまとめ、報告いたします。

令和3年9月7日

三郷町教育委員会

教育長 大西 孝浩

教育長職務代理者 鶴丸 浩

委員 芝崎 善彦

委員 窪内 真一

委員 下方 恵理

目 次

I	点検・評価の概要	1
II	町教育委員会の活動状況	2
III	施策及び事業の点検・評価	6
1.	三郷町教育大綱との対応関係	7
2.	令和2年度主要事業と主な内容	8
3.	点検・評価項目	
①	学校施設の整備	9
②	教職員研修の充実	11
③	就学の支援	13
④	特別支援教育の推進	15
⑤	情報・国際教育の推進	17
⑥	いじめ・不登校の対策	19
⑦	地域の教育力の向上	21
⑧	安全・安心の学校づくり	23
⑨	学校給食体制の整備	25
⑩	幼児教育の充実	27
⑪	生涯学習の推進	29
⑫	青少年の健全育成	31
⑬	人権教育・啓発の推進	33
⑭	文化センターの充実	35
⑮	文化活動への支援	37
⑯	図書館の充実	39
⑰	文化財の保護と活用	41
⑱	生涯スポーツの推進	43
⑲	スポーツ施設の整備	45
IV	学識経験者の知見の活用	47

I 点検・評価の概要

1. 点検・評価の目的

町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況を点検及び評価を行うことで、これまで取り組んできた施策の課題等を明らかにし、効果的な教育行政の推進を図るとともに、その結果を公表することにより開かれた教育行政を推進することを目的としています。

2. 点検・評価の対象

点検及び評価は令和2年度の実績に基づき、「町教育委員会の活動状況」及び「町教育委員会が実施する施策及び事業」を対象としています。

3. 点検・評価の実施方法

- ①町教育委員会の活動状況については、令和2年度の教育委員会議の開催状況や審議事項等を総括し点検しました。
- ②町教育委員会が実施する施策及び事業については、「三郷町教育大綱」の基本目標となる「子育てなら三郷町」「教育なら三郷町」「住み続けるなら三郷町」の3つの柱のもとに設定した20の項目に沿って19の点検評価項目を定め、事務、事業ごとの令和2年度実績を検証し、「事業評価シート」にまとめました。
- ③点検及び評価に当たっては、客観性を確保するため、教育に関する学識経験者から指導・助言を受け、報告書をまとめました。

【点検評価有識者】

氏名	所属・役職
かなやま のりまさ 金山 憲正	奈良学園大学 副学長 (人間教育学部 教授)

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」～抜粋～

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 町教育委員会の活動状況

1. 教育委員

役職名	氏名	備考
教育長	大西孝浩	
教育長職務代理者	鶴丸浩	
委員	芝崎善彦	
委員	窪内真一	
委員	下方恵理	

2. 教育委員会議の開催状況

- ① 定例会・・・12回
- ② 臨時会・・・1回

3. 教育委員会議の審議状況

- ① 審議事項・・・35件
- ② 報告事項・・・22件（各課別報告除く。）

※次頁以降に、令和2年度の教育委員会の開催状況及び審議状況を記載しています。審議事項については「議案」として、その他の報告事項については「報告」に分類し、記載しています。

4. 教育委員の活動状況

- ① 学校(園)計画訪問実施（年1回）
幼稚園1園、小学校2校、中学校1校・・・中止
- ② 小中学校教諭との意見交換会（年1回）
小学校2校・中学校1校・・・中止
- ③ 各小中学校・幼稚園PTA役員との意見交換会（年1回）・・・中止
- ④ 学校行事への参加
入学(園)式、卒業(園)式、運動会、体育祭、文化祭等
- ⑤ 各種会議、行事、研修会等への参加
子どもの安全対策連絡会議、学校支援地域本部事業実行委員会、人権教育、青少年育成各種会議、不登校対策連絡会、各種研修・研究大会、成人式等 ※一部中止

令和2年度 教育委員会議の開催状況について

会 議	令和2年 第4回教育委員会定例会	開会日	令和2年4月21日(火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町文化施設及び体育施設の休館(園)に係る専決処分について(3/3~3/31) ・三郷町文化施設及び体育施設の休館(園)に係る専決処分について(4/1~4/30) ・三郷町立学校(園)に勤務する教職員の職務に専念する義務の特例に関する規則の制定について ・三郷町教育委員会の権限に属する事務の一部委任及び臨時代理に関する規則の一部改正について ・教育長の権限に属する事務の一部を校(園)長に委任する規程の制定について ・三郷町文化施設及び体育施設の休館(園)について ・令和3年三郷町成人式の開催について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務局職員の人事異動について ・教職員の人事異動について ・生駒郡教育長会について ・生駒郡地教委連絡協議会について ・町立学校教職員の在宅勤務及び時差出勤について ・各課別報告 		
会 議	令和2年 第5回教育委員会定例会	開会日	令和2年5月19日(火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町文化施設及び体育施設の休館(園)に係る専決処分について(5/7~5/19) ・三郷町文化施設及び体育施設の休館(園)について(5/20~5/31) 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町立学校の学校再開及び分散登校について ・新型コロナウイルス感染拡大防止に係る三郷町立学校教職員等の職務免除及び在宅勤務実施状況について ・危機管理マニュアルについて ・各課別報告 		
会 議	令和2年 第2回教育委員会臨時会	開会日	令和2年6月1日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町立学校の管理運営に関する規則の一部改正について 		
会 議	令和2年 第6回教育委員会定例会	開会日	令和2年6月23日(火)
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員報告について ・三郷町文化・スポーツ活動事業助成金交付要綱の一部改正について ・令和2年度7月・8月の三郷町ウォーターパークの使用の制限について ・令和2年第2回(6月)三郷町議会定例会について ・各課別報告 		
会 議	令和2年 第7回教育委員会定例会	開会日	令和2年7月21日(火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町新型コロナウイルス感染症対策による給食休止に伴う給食物資納入業者奨励金の支給に関する要綱の制定について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・夏期休業期間中の町立学校における学校閉庁の実施について ・町立学校における新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインについて ・各課別報告 		

会 議	令和2年 第8回教育委員会定例会	開会日	令和2年8月18日(火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する事務の点検及び評価報告書(令和元年度実施分)について ・令和3年度中学校使用教科書採択について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度(繰)三郷北小学校大規模改造工事(第1期)請負契約の締結について ・公益財団法人三郷町文化振興財団の経営状況について ・各課別報告 		
会 議	令和2年 第9回教育委員会定例会	開会日	令和2年9月29日(火)
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町小中一貫教育に関する児童生徒及び保護者意識調査の結果概要について ・三郷町文化センター及び三郷町スポーツセンターの臨時休館について ・令和2年第3回(9月)三郷町議会定例会について ・各課別報告 		
会 議	令和2年 第10回教育委員会定例会	開会日	令和2年10月15日(木)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年三郷町成人式の開催要項の変更について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・各課別報告 		
会 議	令和2年 第11回教育委員会定例会	開会日	令和2年11月16日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町学校支援地域本部事業実行委員会委員の委嘱に係る専決処分について ・三郷町スポーツセンター及び三郷町ウォーターパーク指定管理者事業支援金交付要綱の制定に係る専決処分について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度図書館の利用状況について ・各課別報告 		
会 議	令和2年 第12回教育委員会定例会	開会日	令和2年12月14日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町心身障害児就学指導委員会の答申について ・令和2年度卒業(園)式及び令和3年度入学(園)式について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年第4回(12月)三郷町議会定例会について ・各課別報告 		
会 議	令和3年 第1回教育委員会定例会	開会日	令和3年1月19日(火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町文化財保護審議会への諮問について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・各課別報告 		
会 議	令和3年 第2回教育委員会定例会	開会日	令和3年2月16日(火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町文化センターの指定管理者の指定について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・各課別報告 		

会 議	令和3年 第3回教育委員会定例会	開会日	令和3年3月16日(火)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度学校評議員の委嘱について ・ 三郷町心身障害児就学指導委員会の答申について ・ 三郷町文化財保護審議会の答申について ・ 三郷町文化財の指定について ・ 三郷町文化財保護条例の一部改正について ・ 三郷町文化財保護条例施行規則の一部改正について ・ 三郷町文化財保護審議会条例の一部改正について ・ 三郷町文化財保護審議会条例施行規則の一部改正について ・ 三郷町教育委員会の権限に属する事務の一部委任及び臨時代理に関する規則の一部改正について ・ 三郷町教育委員会事務局組織に関する規則の一部改正について ・ 三郷町各種団体等運営補助金交付要綱の一部改正について ・ 三郷町文化芸術スポーツ事業補助金交付要綱の一部改正について ・ 三郷町スポーツ競技全国大会等出場者奨励金交付要綱の一部改正について ・ 三郷町立学校の管理運営に関する規則の一部改正について ・ 令和3年度町立学校（園）の教育課程について 		
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年第1回（3月）三郷町議会定例会について ・ 各課別報告 		

Ⅲ 施策及び事業の点検・評価

1. 点検・評価の項目

点検及び評価に当たっては、より効率的で実効性のあるものにするため、「三郷町教育大綱」の施策体系に沿って、次頁の表のとおり19の「点検・評価項目」を設定しています。

点検及び評価の方法については、各事業の課題とその改善方法及び結果について、PDCAサイクル(※)に従い、詳細に記載するとともに、成果指標と決算額を示し、成果とコストを明確にするようにしています。

また、国や県の補助事業については、その内容や額等を明記しています。

2. 点検・評価結果の内容

各項目は、「1. 基本事項」「2. 事業概要・目的」「3. 事業実績・結果」「4. 点検評価・課題」「5. 改善方法・結果」「6. 今後の計画・方向性」に分類しています。

【基本事項】

→施策の名称、担当課、教育大綱との相関性及びその施策が目指す基本的な方向性を記載しています。

【事業概要・目的】

→各施策に基づいて教育委員会が実施した事業の概要とその目的を記載しています。

【事業実績・結果】

→実施した事業の実績及び結果を記載しています。数値については、令和2年度実績です。（「◎」については、補助事業を示します。）

【点検評価・課題】

→事業実績及び結果に基づき、事業の達成度、成果及び課題を記載しています。成果については、成果指標と決算額を数値で示しています。また、課題については、継続的な課題とともに、令和2年度における新たな課題に分類して記載しています。

【改善方法・結果】

→継続的な課題に対する改善方法及び結果並びに新たな課題に対する改善方法などについて記載しています。

【今後の計画・方向性】

→事業の今後の方向性と計画について記載しています。

※PDCAサイクル

計画(PLAN)→実行(DO)→点検(CHECK)→見直し(ACTION)の流れを次の計画に活かすことで、継続的な改善を図るプロセス。

【三郷町教育大綱との対応関係】

<教育大綱 基本目標>

I 「子育てなら三郷町」

仕事と子育ての両立を支援するサービスと質の高い教育を提供し、若い世代や子育て世代に「安心して子育てができる」と感じてもらえるまちを目指します。

II 「教育なら三郷町」

まち全体で子どもたちの成長をサポートできるよう、ICT環境を整備また活用し、地域の豊かな自然と歴史を活かした教育等を取り入れて学校教育の充実を図るとともに、孤立する子どもをつくらないための取組等を積極的に進めます。

また、学校と地域の連携を深めながら、地域における学習や世代間交流の場づくりなど、すべての人が生涯にわたり学習できる機会を提供します。

III 「住み続けるなら三郷町」

生涯を「学び」の機会として捉え、心豊かな「ふれあい」と「地域愛」をもって、子どもからお年寄りまですべての人が生きがいをもってイキイキと暮らすことのできる活力ある地域づくりを進めます。

基本目標	基本施策	点検・評価項目頁
I 「子育てなら三郷町」	①放課後の学習の機会の充実と子どもたちの居場所づくり	P21
	②豊かな心と感性を育む幼児教育の充実	P27
	③誰もが質の高い教育を受けることができる就学の支援	P13
II 「教育なら三郷町」	④学校施設の整備と充実	P 9
	⑤ICTを活用した小中一貫教育の導入	P17
	⑥特別支援教育の充実	P15
	⑦ICT教育と国際教育の推進	P17
	⑧いじめ・不登校の対策の推進	P19
	⑨安全な学校づくり	P23
	⑩学校給食体制の充実	P25
	⑪地域の教育力の向上	P21
	⑫文化教育の推進と地域愛の醸成	P37
	⑬幅広い図書利用の推進	P39
III 「住み続けるなら三郷町」	⑭生涯学習の推進	P29
	⑮青少年の健全育成の充実	P31
	⑯人権教育・啓発の推進	P33
	⑰文化センターの充実	P35
	⑱文化活動への支援	P37
	⑲図書館の充実	P39
	⑳文化財の保護と活用	P41
	㉑生涯スポーツの推進	P43
㉒スポーツ施設の整備	P45	

令和2年度主要事業と主な内容

点検・評価項目	主要事業及び内容
①学校(園)施設の整備	・学校、幼稚園の改修・整備工事
	①三郷北小学校大規模改造工事(第1期) ※エレベーター棟増築・外壁補修工事 令和2年度竣工
	②三郷北小学校大規模改造工事(第2期) ※教室棟・職員室増築 令和3年度竣工予定
	③町立小学校トイレ洋式化工事
	④三郷小学校電話設備取替工事
	⑤三郷中学校電気錠付き袖門扉設置工事
	⑥南畑幼稚園太陽光パネル設置工事(自立・分散型エネルギー設備等導入工事)
	⑦南畑幼稚園屋根等改修工事
	⑧南畑幼稚園園児用FRPプール設置工事
⑨南畑幼稚園スロープ設置工事	
②教職員研修の充実	・小・中学校、幼稚園の教職員研修、県実施研修への参加
③就学の支援	・小・中学校就学援助、育英振興助成 ※令和元年度10月以降、幼稚園無償化
④特別支援教育の推進	・特別支援教育の推進、教育相談、特別支援教育就学奨励
⑤情報・国際教育の推進	・校内LAN・教育用コンピュータの整備、ALT(外国語指導助手)の派遣
	①町立学校授業支援システム・遠隔通信システムの活用
	②デジタル教科書の活用
	③ICT支援員の継続配置
	④町立学校(各校1名配置)及び幼稚園・保育園へのALT派遣
	・ICTを活用した小中一貫教育導入に向けた調整及び試行
⑥いじめ・不登校の対策	・スクールカウンセラー・心の相談員の活用、メンタルヘルス相談、不登校対策連絡会
⑦地域の教育力の向上	・子ども権学習支援事業、学校支援地域本部事業 ※一部中止や縮小実施
⑧安全・安心の学校づくり	・子ども情報ネットさんごう、さんごう子ども見まもり隊、青色防犯パトロール
⑨学校給食体制の整備	・安全安心の学校給食、食育の推進、食物アレルギー対応、地産地消の推進
⑩幼児教育の充実	・地域に開かれた幼稚園、子育て支援
⑪生涯学習の推進	・学習基盤の整備、各種学級の運営 ※一部中止や縮小実施
⑫青少年の健全育成	・青少年育成三郷町民会議、成人式 ※ふれあいのつどい、教育講演会は中止
⑬人権教育・啓発の推進	・識字学級、人権教育地区別懇談会、人権問題学習セミナー、人権相談※一部中止や縮小実施
⑭文化センターの充実	・公開講座・文化教室、グループ活動の支援 ※一部中止や縮小実施
	・施設整備
	①陶芸窯入替工事
	②施設内照明(ホールを除く)LED化工事(カーボンマネジメント強化事業)
	③トイレ手洗い場自動水栓化工事
④トイレ洋式化工事(2階女子トイレ)	
⑮文化活動への支援	・生涯学習の指導者等の活用支援、各種団体への助成
⑯図書館の充実	・情報資料の提供(令和2年度電子図書館システム導入)
	・施設整備(トイレ修繕他)
	・子ども読書の推進、生涯学習事業の推進
⑰文化財の保護と活用 ※文化財については、令和3年度より「ものづくり振興課」に事務を移管	・文化財の保護、文化財の啓発・活用、地域の歴史学習の機会の提供
	①日本遺産認定(「龍田古道・亀の瀬」)
	②万葉歌碑及び解説案内板設置工事
⑱生涯スポーツの推進	・スポーツの推進、軽スポーツ事業
⑲スポーツ施設の整備	・スポーツ施設の整備、指定管理
	①スポーツセンター施設内照明LED化工事(カーボンマネジメント強化事業)
	②スポーツセンター空調入替工事(カーボンマネジメント強化事業)
	③ウォーターパーク屋外プールサイド/屋内プール槽改修・監視カメラ取替工事 他
	④各スポーツ施設トイレ手洗い場自動水栓化工事
	【その他施設修繕・整備等箇所数】
	①竜田運動公園(5件) ②勢野グラウンド(1件) ③中央公園多目的広場(2件)
【指定管理】スポーツセンター・ウォーターパーク (柗翔成(H30年度～R4年度))	

令和2年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	①学校施設の整備	担当課名	教育総務課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設の耐震性を確保します。 誰もが利用しやすい環境とするため、施設の整備を行います。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> 三郷北小学校にバリアフリーの一環としてエレベーターを設置するとともに、在籍児童数に対して不足している教室及び職員室の増築や老朽化の著しい外壁を補修するため、「三郷北小学校大規模改造工事」を実施。 全ての児童生徒が「ともにおもい ともにまなび ともにそだつ」ことができる学校施設環境を整備するとともに、各設備の老朽化対策を逐次実施。 施設及び非構造部材の耐震化は一定終えているものの、施設等の老朽化が深刻である状況に鑑み、再生整備(改修)を計画的に実施するため、学校(園)施設の「個別施設長寿命化計画」を策定する。 校(園)内における新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、幼児・児童・生徒及び教職員が共有する水道蛇口を自動水栓蛇口に更新。 災害時の避難所としての役割も果たす学校施設の防災機能の強化として、学校におけるトイレの洋式化が進められている中、本町においても国庫補助金を活用し、学校トイレ洋式化率の100%を目指す。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○各学校・園の施設整備状況(主な補修工事等、事業費200,000円以上)		
	【三郷小学校】		
	工事名称	事業費(円)	補助金等(円)
	体育館雨漏り修繕	240,000	—
	遊具修繕	293,470	—
	止水弁漏水修繕	549,626	—
	校舎床補修工事	689,205	—
	室名プレート取替修繕	207,680	—
	下水管詰り修繕	209,000	—
	体育館雨漏り修繕(西面)	352,365	—
	電話設備取替工事	682,209	—
	トイレ洋式化工事	24,141,700	4,681,000
	合計	27,365,255	4,681,000
	【三郷北小学校】		
	工事名称	事業費(円)	補助金等(円)
教室雨漏り修繕	200,000	—	
教室扇風機等修繕	216,700	—	
遊具修繕	240,360	—	
給食用リフト修繕	290,400	—	
土留め修繕	777,700	—	
消防用設備不良箇所改修工事	247,500	—	
大規模改造工事設計業務	16,808,000	—	
大規模改造工事設計監理業務	2,640,000	—	
大規模改造工事【第1期】※外壁補修・EV設置	123,601,500	32,356,000	
大規模改造工事【第2期】※増築(前払金)	99,396,000	99,396,000	
トイレ洋式化工事	10,288,300	1,626,000	
合計	254,706,460	133,378,000	
【三郷中学校】			
工事名称	事業費(円)	補助金等(円)	
電気錠付き袖門扉設置工事	880,000	—	
合計	880,000	—	
【南畑幼稚園】			
工事名称	事業費(円)	補助金等(円)	
自立・分散型エネルギー設備等導入工事	34,870,000	3,277,000	
幼稚園屋根等改修工事	5,698,000	—	
幼児用FRPプール設置工事	4,268,000	—	
スロープ設置工事	1,199,000	—	
合計	46,035,000	3,277,000	

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。 ・三郷北小学校にバリアフリーの一環としてエレベーターを設置するとともに、児童数に対して不足している教室及び職員室の増築や老朽化の著しい外壁を補修するため、「三郷北小学校大規模改造工事」を実施し、第1期工事（エレベーター棟増築及び外壁補修）については令和2年度に竣工、第2期工事（職員室及び教室棟増築）については、令和3年度中の竣工を予定している。 ・施設・設備の老朽化対策として、小学校において校舎及び体育館の雨漏り補修や校庭に設置する遊具の修繕など、各種補修工事を実施した。 ・開校後、一定期間が経過し老朽化が進む小学校校舎において、改修及び維持保全の中長期的な計画に基づき、財政負担の縮減・平準化を図りながら安心安全な教育施設を継続的に確保するため、「学校施設長寿命化計画」を策定した。 ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、その予防対策の休校(園)措置等により教育活動の停止が余儀なくされた。このことから、感染拡大防止策を種々講じ、その一環として幼児・児童・生徒及び教職員が共有する水道蛇口を自動水栓蛇口に更新したが、コロナの影響で一部部品の納入が遅延したため、令和3年度に繰り越した。 ・令和2年度のトイレ洋式化工事により、町立小学校2校共に洋式化率100%を達成。なお、中学校については、平成30年度の新校舎建設時に洋式化率100%を達成している。 ・南畑幼稚園において、自立・分散型エネルギー設備等導入工事として、国庫補助金を活用して蓄電池及び太陽光パネルを設置した。また、老朽化が著しかった幼児用プールを更新し、園舎屋根等の改修工事を実施した。 【成果指標①】					
	②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R1年度	R2年度
	①学校、園改修等	補修・改修件数	件	53	64	R 1 226,266,510 R 2 331,969,560
③事業の課題	【継続的な課題】 ①町立小学校校舎の経年による劣化等に対応するため、バリアフリー化も含めた改修及び補修の実施。 ②南畑幼稚園の園舎の経年劣化等に対応するため、施設改修及び補修の実施。					
	【新たな課題】 ①築後50年を迎える三郷小学校では、雨漏りや水道配管の水漏れなど経年による老朽化が顕著であるため、校舎全体の体力度調査を実施する必要がある。					

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	【継続的な課題に対する改善方法及び結果】 ①三郷北小学校は、令和元年度より大規模改造工事を実施しており、令和3年度中に竣工予定であるが、インフラ等の老朽は進んでおり、今後も両小学校において、経年劣化に伴う改修・補修の更なる増加が見込まれる。 令和2年度には、個別施設長寿命化計画を策定したが、今後、維持管理に係る費用が嵩むことは必至であり、国庫及び県の補助金を有効に活用しながら計画的に整備する必要がある。また、三郷小学校については、エレベーター設置等についても早急に検討する必要がある。 ②南畑幼稚園の園舎については、緊急を要する補修等については逐次実施し、個別施設長寿命化計画に沿って都度修繕工事を実施していくが、近年、園児数の減少等、変動があり、共働き世帯が増加する中、今後の利用者数等の動きにも注目していく。					
	【新たな課題に対する改善方法の検討】 ①三郷小学校の校舎の状態を可及的速やかに精査し、費用対効果も踏まえ、今後の計画を立てていくことが急務である。					

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容)	<input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大	<input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
・三郷北小学校における大規模改造工事を令和3年度内に竣工。 ・令和2年度に策定した町立学校(園)の個別施設長寿命化計画に基づき、緊急性・優先性及び費用対効果を考慮した整備を進める。 ・令和3年9月に医療ケア児支援法が施行されることに伴い、国や地方自治体が医療的ケアを要する子どもたちの支援を行う責務を負うことが法で定められる。今後も障がいの有無にかかわらず、町立学校に入学を希望する児童生徒の受け入れのための施設及び環境を迅速に整備していく。						

令和2年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	②教職員研修の充実	担当課名	教育総務課 南畑幼稚園	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	・子どもたちが健やかに成長できるよう、また、きめ細やかな指導で学力の向上を図るよう、県など関係機関との連携協力により研修を実施し、教職員の資質向上に努めます。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>○小中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初任者の教諭に対し、1年間の研修を実施して実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を習得させる。また、県の研修に加え、生駒郡地教委主催で年2回研修会を実施する。 ・発達障がい等で特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に対する総合的な支援体制の充実を図るため、生駒市と生駒郡が合同で研修会を実施する。 ・日々発展するICT教育機器の整備に即応するため、ICTを活用した指導方法の研修会を必要に応じて実施する。 <p>○幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生駒郡幼児教育研究会・奈良県幼児教育研究会において幼児の気持ちや遊びの見方、捉え方を学び幼児理解を深める。 ・幼稚園教員研修及び特別支援教育研修を随時行い、幼稚園教育と小学校教育との円滑なつながりを図り、幼小連携をより充実させるとともに、教員の資質向上を図る。 ・幼児期教育、小学校教育及び中学校教育との円滑なつながりを図り、幼保小中連携をより充実させるための研修会を行う。 ・初任者の教諭に対して1年間を通して研修を実施し、幼稚園教育の理解を深め、幅広い知識の習得を図る。また、質の向上を図るため、県の研修に加え、担当課が10回の園内研修を計画し、実施する。 ・教員の力量を高めるため、園内研修を行う。 <p>◎県実施研修への参加【県費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県が実施する各種教職員研修に積極的な参加を促す。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○小中学校</p> <p>【初任者研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修対象者 6人 ①第1回生駒郡地教委主催初任者研修（参加者6人） <ul style="list-style-type: none"> ＜内容＞ 三郷町内のフィールドワークを通して、亀の瀬地すべりセンター、現地、トンネル等を見学し、自然に対する開発の歴史や技術について見識を深めた。 初任2年目の先輩の実践発表と指導主事から長年の教師生活での多様な経験による「教員の心構え」について講話を聞き、各自の今後の取組みの参考にした。 ②第2回生駒郡地教委主催初任者研修（参加者6人） <ul style="list-style-type: none"> ＜内容＞ 授業力を向上させるための工夫等について自ら情報発信し、交流の重要性を体験的に学び、今後の授業実践に生かす取組みとした。また、校種別に「生徒指導上の課題と解決の糸途」について、事例をもとにグループ討議し、課題解決の手立てについて意見交流した。 <p>【特別支援教育研修会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止 <p>○幼稚園</p> <p>【生駒郡幼児教育研究会・奈良県幼児教育研究会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 各種部会研修（実践事例による研究協議）、特別支援教育部会（各園の現状報告 講演会） 回数 全体研修：県2回 部会研修：（放送教育部会）郡4回、 （特別支援教育部会）郡2回 <p>【幼稚園教員研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①新任研修（対象者1名） <ul style="list-style-type: none"> 内容 ・外部講師による保育内容の点検及び指導。 ・教育コーディネーター、担当主幹から幼児教育の基本についてや教員の心構えについて講話を受ける。 ②職員研修 <ul style="list-style-type: none"> 内容 ・研究テーマに迫る実践例やエピソードを持ち寄り、幼児の内面に迫るとともに環境構成の充実を図る。 ・奈良県教育委員会が作成している「はばたくなら」を活用し保育内容の深まりを図る。 ・日々の子どもの姿、保育内容を話し合い、教員同士が刺激し合い、高まり合いながら資質向上を目指す。 回数 8回（2か月の休園期間を活用し研修を実施した。） ※月1～2回 <p>◎県実施研修への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修への参加 参加人数：6人 ・教職経験に応じたステージ別研修及び職務や今日的課題等に対応した研修への参加 参加人数：33人（幼稚園7人、三小6人、北小8人、三中12人）
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○小中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生駒郡地教委主催の初任者研修は、授業展開や教材・教具の工夫・ICT機器の活用、学級運営の仕方、児童生徒との接し方、保護者対応等の実践的なもので日常の教育活動に活かされている。 また、各自の経験・実践の情報を発信し交流することで、自己の取組みをふり返る重要な機会を得た。 【成果指標①】 <p>・特別支援教育研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は中止。【成果指標②】</p> <p>・ステージ別研修には、33人が受講し、講座数は延べ52講座であった。【成果指標④】</p> <p>・ICT教育研修については、教育委員会事務局の担当者が「校務支援システム」や「学習サポートアプリ」等の研修を開催。また、県主催のオンライン研修や各校において教職員が各種部会を作り、自主的に前向きな研修を開催し、ICTを活用した授業の積極的な運営に取り組んだ。【成果指標⑤】</p> <p>○幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生駒郡幼児教育研究会、奈良県幼児教育研究会では、コロナ禍で例年の半数の研修会であったが実践交流の場となった。また、現在の幼児教育の置かれている状況、課題を学ぶことができた。【成果指標③】 ・幼稚園教員研修では幼児の内面や遊びの見取り方を学ぶことができた。また、自分の実践を理論立てて振り返ることを学び、あらためて幼稚園教育の大事さを感じる事ができた。特別支援教育では巡回相談を実施することで、支援を必要とする一人ひとりの幼児の行動の意味を理解し、個に応じた支援方法を学ぶことができた。 ・今年度はコロナ禍で幼児の実態については報告しあうことができたが、中学生の職業体験や小学校への体験入学など、予定していた事業も中止になるなど、思うように保幼小中と連携の機会をもつことができなかった。 <p>○教員研修における人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員自身の人権感覚・意識を高めるとともに、子どもたち一人ひとりを大切に教育活動に役立てた。 また、その他関係機関・団体の各種研修会にも参加した。
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R1年度	R2年度	決算額(円)
	①初任者研修		研修回数(町実施)	回	2	2
②特別支援教育研修会・第3ブロック研修会		参加人数	人	24	0	R1 R2
③生駒郡幼稚園教育研究会・奈良県幼稚園教育研究協議会		研修回数	回	24	10	R1 R2
④ステージ別研修		参加人数	人	33	33	R1 R2
⑤ICT教育研修		研修回数(1校あたり)	回	3	7	R1 R2

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①幼保小中連携については、それぞれの校種の違いによる教育内容や指導方法等、子どもたちが学校生活の変化に対応できるよう、各校種相互の現状理解と適切な指導が教員に求められる。</p> <p>②ICTを活用した小中一貫教育の導入に向けて、教員による電子黒板・タブレットPC等の機器の効果的な利用はもとより、子どもたち自らの機器の活用に係る適切な指導が教員に求められる。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①コロナ禍の休校をはじめ、いかなる状況にも対応できるオンライン授業をすべての学年の児童・生徒に提供できるスキル(教員及び児童生徒)と体制の構築が喫緊の課題となっている。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①幼保小中教育の連携は、小中一貫教育の導入に関わっては勿論のこと学習面や情操面、また、子どもたちを取り巻く環境の整備面においても必要不可欠である。この連携に行政も関わり、関係機関及び教員相互の情報共有及び意思疎通を図るため、校種を越えた研修や情報交換などの協議の場を通じて、町ぐるみで子どもの段階的な成長をサポートできる体制を構築する。</p> <p>②授業におけるICT機器の効果的な活用については、そのスキル習得についても教員のやる気と主体性が顕著に出てきており、授業におけるICTの活用も極めて活発になってきている。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①対面授業にはないメリットとデメリットを精査し、充実したオンライン授業ができるよう、ICT学習を充分に活用するための体制を早急に確立する。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・教育に求められるニーズの多様化や変革期に相まって、コロナ禍を契機に大きく変わってきている社会情勢に鑑み、教育行政と学校教職員には、これまで以上に多岐にわたりつつある教育課題を的確に把握し、フレキシブルな対応が求められていることから、広い視野と見識を得るための研修の実施及び自己研鑽に努める。</p> <p>・「小中一貫教育」の効率的かつスムーズな導入と実施のため、学習面のみならず、子どもたちが健康に、有意義な学校生活を送るためにも、諸課題の解消と各校教員間の共通認識を深めることはもとより、幼保小中及び行政との連携を密に図り、研修や情報交換の場を積極的に設け、具体的な取組みを推進する。</p> <p>・幼稚園における教員の資質向上を図るため、各種研修への積極的な参加を促すと同時に研究テーマに沿った園内研修や保育内容を検討する機会を設けていく。また、特別支援教育の巡回相談や県の支援事業などを積極的に活用し、スキルアップを図る。</p>

令和2年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	③就学の支援	担当課名	教育総務課	教育大綱位置づけ	I「子育てなら三郷町」
基本方向	・経済的理由により、教育の機会均等が損なわれることがないように、各種補助事業を実施し、保護者の経済的負担の軽減を図ります。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>◎小中学校就学援助【国庫補助事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済的な理由等によって、子どもたちの就学が妨げられることのないよう、学用品費や学校給食費などを援助する。 <p>◎育英振興助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内在住の中学校卒業生で、経済的な理由で高等学校等への進学が困難な生徒に対し、新入学に際して要した経費の一部を助成する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	◎小中学校就学援助【国庫補助】				
	【要保護児童生徒就学援助費】				
	学校名	認定者(人)	支給対象者(再掲・人)	就学援助費(円)	国庫補助額(円)
	三郷小学校	15	8	134,696	67,000
	三郷北小学校	0	0	0	0
三郷中学校	4	1	23,365	12,000	
合計	19	9	158,061	79,000	
※令和2年度認定者全体のうち支給対象者は修学旅行費及び卒業アルバム代の支給対象者のみ					
【準要保護児童生徒就学援助費】					
学校名	認定者(人)	就学援助費(円)	給食費(円)	援助費合計(円)	
三郷小学校	61	1,884,154	2,562,430	4,446,584	
三郷北小学校	35	893,939	1,508,000	2,401,939	
三郷中学校	54	3,400,402	2,412,350	5,812,752	
合計	150	6,178,495	6,482,780	12,661,275	
◎育英振興助成金					
新入学に際して保護者等が負担した経費(授業料を除く。)のうち、学校区分に応じて、公立は3万円、私立は5万円を上限として助成金を支給。					
学校区分	認定者(人)	助成額(円)			
公立	12	360,000			
私立	2	100,000			
合計	14	460,000			

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助の認定者は、小中学校合わせて全児童生徒1,673名中、認定者は169名(認定率10.1%)で、前年度(9.7%)と比較して微増したが、支給額については前年度比221,617円増となった。令和2年度は、各校において最終学年の支給対象者が増加し、援助費目の中でも比較的高額な卒業アルバム費の支給金額が増加したものの、修学旅行が新型コロナウイルス感染症の影響で縮小実施となったため、修学旅行費の一人当たりの支出が減額されたことにより、全体の支出額が抑制されているものとする。【成果指標①】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月及び5月は学校休業となり給食の実施はなかったが、学校給食費の援助に代えて、各家庭における昼食費に係る支援として4月・5月分の就学援助費を準要保護児童生徒世帯へ支給した。【成果指標①】 ・育英振興助成金については、14名(公立12名・私立2名)の対象者に対し、制服等の高校等入学に要した費用の一部を助成。前年度より9名減かつ私立進学者が2名のみのため、支給総額は減となったが、対象者全員に上限額を支給した。【成果指標②】
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R1年度	R2年度	決算額(円)	
	①小中学校就学援助		認定者数	人	164	169	R 1
認定率			%	9.7	10.1	R 2	12,661,275
②育英振興助成金		認定者数	人	23	14	R 1	730,000
						R 2	460,000

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①町立以外の小中学校へ通う児童・生徒の保護者の就学援助制度の認知。 ②新型コロナウイルス感染症による減収世帯への就学援助実施方法の検討。 <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①就学援助におけるGIGAスクールの整備に伴う各家庭のインターネット通信費用の項目追加。
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①就学援助の制度については、町ホームページに掲載し、町立学校以外に通う児童生徒の世帯にも制度の周知に努めているが、未だ申請がない対象世帯も見受けられる。 ②新型コロナウイルス感染症による減収世帯への就学援助制度について、文書等で呼び掛けたものの、それに応じた申請者数の増加は見られず、コロナ禍の影響を受けている世帯の実態把握が困難である。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①インターネット通信費用については、学校からのタブレットの持ち帰りが学年によって差異がある状況下で、支給要件の整備等、支給根拠を明確にする必要がある。
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input checked="" type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育英振興助成金制度の認知定着に向け、就学援助受給世帯等、あらかじめ制度の対象となることが判明している世帯に対して申請勧奨を行う等の学校からの個別対応やホームページの活用等により、その周知を更に徹底する。 ・就学援助について、今後も引き続き、国の動向も加味し、就学援助の対象費目の充実を図る。また、未だ感染拡大が抑えられない新型コロナウイルスによる減収世帯等への支援の在り方についても、更なる検討を進め、必要とする世帯に支援が行き渡るように努める。

令和2年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	④特別支援教育の推進	担当課名	教育総務課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	・学校教育において、特別な支援を要する幼児・児童・生徒について、誰もがともに学べる「なかまづくり」の教育と体制の整備を進めます。				

2 事業概要・目的(PPLAN)

事業概要・目的	<p>○特別支援教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児・児童・生徒一人ひとりの教育ニーズを把握し、子どもたちの持っている力を高め、生活や学習上の課題を改善又は克服するため、それぞれに応じた適切な指導及び必要な支援を行う。 <p>○教育相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学前の幼児を持つ保護者の不安や悩みに寄り添い、障がい等の状況に応じた適切な教育が受けられるよう教育相談を実施。 <p>○特別支援教育担当者連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼・保・小・中学校の連携を強化し、情報共有や適切な就学指導方法を検討するため、定期的に担当者連絡会を開催。 <p>◎特別支援教育就学奨励費【国庫補助事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級在籍児童生徒の保護者に対し、その経済的負担の軽減を図るため、世帯の所得額等の条件を付して、対象者に学用品費や学校給食費などの一部を援助する。 ※小中学校就学援助の認定者は支給対象外。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○特別支援教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援を必要とする幼児・児童・生徒は増加傾向にあり、個に応じたきめ細かな支援をするため、町費による講師を各学校に配置し、三郷北小学校については1名増員した。 また、三郷北小学校においては医療的ケアを要する児童に対応するため、令和2年度から看護師(パートタイム)を2名雇用しているが、令和3年1月には南畑幼稚園において医療的ケアを要する幼児が入園したことに伴い、新たに看護師(パートタイム)を1名雇用し、配置した。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>【講師数】</th> <th>【医療的ケア看護師数】</th> <th>【特別支援入級者数】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南畑幼稚園</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>5人</td> <td>0人</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td>7人</td> <td>2人</td> <td>49人</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td>3人</td> <td>0人</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>16人</td> <td>3人</td> <td>114人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○教育相談の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学前の幼児を持つ保護者を対象に、令和2年7月に斑鳩町中央公民館において生駒郡合同の教育相談会を行った。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">【相談人数】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校区</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校区</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>33人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○特別支援教育担当者連絡会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の充実を図るため、小中学校の特別支援担当教員及び教育委員会事務局担当者間で情報交換と連携を図る場として平成21年度より設置している「特別支援教育担当者連絡会議」を年間4回開催した。(6月・7月・9月・12月開催) <p>◎特別支援教育就学奨励費【国庫補助】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">【就学奨励費認定者数】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>51人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年度決算額：1,706,368円(補助額 831,000円) (内訳) 三郷小学校 398,290円(補助額 195,000円) 三郷北小学校 858,780円(補助額 416,000円) 三郷中学校 449,298円(補助額 220,000円)</p>		【講師数】	【医療的ケア看護師数】	【特別支援入級者数】	南畑幼稚園	1人	1人	12人	三郷小学校	5人	0人	34人	三郷北小学校	7人	2人	49人	三郷中学校	3人	0人	19人	合計	16人	3人	114人	【相談人数】		三郷小学校区	17人	三郷北小学校区	16人	合計	33人	【就学奨励費認定者数】		三郷小学校	13人	三郷北小学校	28人	三郷中学校	10人	合計	51人
	【講師数】	【医療的ケア看護師数】	【特別支援入級者数】																																								
南畑幼稚園	1人	1人	12人																																								
三郷小学校	5人	0人	34人																																								
三郷北小学校	7人	2人	49人																																								
三郷中学校	3人	0人	19人																																								
合計	16人	3人	114人																																								
【相談人数】																																											
三郷小学校区	17人																																										
三郷北小学校区	16人																																										
合計	33人																																										
【就学奨励費認定者数】																																											
三郷小学校	13人																																										
三郷北小学校	28人																																										
三郷中学校	10人																																										
合計	51人																																										

4. 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒は年々増加傾向にあることから、県の配置基準に加えて、町費による講師を各学校に配置。令和2年度は、三郷小学校にフルタイム5人、三郷北小学校にフルタイム7人、三郷中学校にフルタイム3人、南畑幼稚園にはパートタイム1人の計16人を配置し、医療的ケア児の対応に、三郷北小学校2人、南畑幼稚園で1人の看護師(パートタイム)を配置した。【成果指標①】 ・就学前教育相談では、保護者の就学に対する不安を解消するため、教育委員会事務局と特別支援担当の教員が相談を行い、園での生活の仕方や専門機関の紹介等、幼児の状態に応じ、対応した。 また、令和2年度の相談件数は33件で増加傾向にある。なお、主な相談内容としては、特別支援学級入級に係る相談が多かった。【成果指標②】 ◎小中学校における特別支援教育就学奨励費の給付認定者は、特別支援学級入級児童生徒数102名中51名(就学援助認定者の19名を除く。)と前年度に比べ3名増えているものの、特別支援学級入級者総数に対する給付認定者の率は、50%と、年々減少傾向にある。【成果指標③】
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R1年度	R2年度	決算額(円)
	①特別支援教育の推進		配置講師数	人	15	16
配置看護師数			人	0	3	R1 - R2 3,171,901
②教育相談		相談人数	人	21	33	R1 - R2 -
③特別支援教育就学奨励費		認定者数	人	48	51	R1 1,730,996 R2 1,706,368

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①年々、特別支援を必要とする幼児・児童・生徒が増加しているとともに、個別の教育的ニーズも多様化している。また、授業内容や子どもたちの体調等により、別室における適切な支援が必要となるケースが増えてきていることから、個々の対応方法を検討する必要がある。 ②就学前教育相談については、生駒郡内においても年々件数が増加しており、生駒郡合同教育相談の実施会場を増設する状況になってきていることから、町において随時相談できる体制構築の検討が必要である。 ③医療的ケア児又は重度障がい児を有する児童・生徒が町立学校への入学を希望するケースは今後増加することが考えられるため、ハード・ソフト両面での受け入れ体制を構築していく必要がある。 ④医療的ケア児や重度障がい児に対応するため、教職員等の専門知識やスキル向上の必要がある。 <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和3年9月に医療的ケア児支援法が施行されることに伴い、医療的ケアの充実等、町立学校(園)における特別支援体制の更なる拡充が必須である。
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①重層的支援も視野に置き、教育と福祉など行政分野を越えた切れ目ない連携を一層推進することにより、個に応じた指導や支援を行う体制を構築するため、教員の配置に加え、特別支援員の雇用も検討する。 ②就学前教育相談のみならず、随時、複数の関連部署において相談を受けることのできる体制を確実なものにするため、その連携を更に強化すると共に、令和3年度以降は生駒郡合同ではなく各町において相談日を設け、相談業務を実施する。 ③児童生徒個々の状況に応じた適切な対応と本来あるべき支援の方法について、関係各機関と連携し最善の支援のあり方を検討する。また、入学前から対象児の状態を可能な限り早期に把握するよう努めると共に、その教育のハード・ソフト両面において、国庫及び県補助金等を最大限に活用した環境整備を前向きに検討。 ④医療的ケア児や重度障害児に医療サイドから対応する看護師はもちろん、すべての教員が教育的支援ができるよう、そのスキルアップを図るため、研修機会等を積極的に活用する。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①障がいの有無にかかわらず、すべての子どもたちが快適に学校生活を送れるよう、個の状況に対応し得る学校施設の環境整備及び人員配置が必要となる。
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/>予算補充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input checked="" type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期からのケアやその経過や状態把握も重要であることから、乳幼児・児童・生徒及びその保護者等のニーズはもとより、個々の状況、また、その年齢に応じた正しい対応ができる総合的なサポート体制を構築すべく、関係部署及び各機関の連携強化を図る。 ・障がいの有無やその状況に関わらず、町立学校に入学することを希望するすべての子どもたちが共に学び、皆で育つことができるよう、ハード・ソフト両面での体制整備を進める。 ・南畑幼稚園に在籍する特別支援を要する子どもたちに、適切な指導や必要な医療的ケアを行うため、指導主事による指導はもとより、特別支援教育の巡回相談を積極的に活用し、次につなぐ教育と支援を行っていく。 ・令和3年9月に医療的ケア児支援法が施行されることに伴い、国や地方自治体が医療的ケアを要する子どもたちの支援を行う責務を負うことが法で定められる。今後も、すべての子どもたちが快適かつ健康に学校生活を送るために必要な学校環境整備を図る。 		

令和2年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑤情報・国際教育の推進	担当課名	教育総務課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 校内におけるLAN整備を進めるとともに、教育用コンピュータの充実に努めます。 生きた外国語の学習や異文化への理解を養うため、AET制度の充実に図ります。 義務教育9年間の教育における系統性を確保することにより、学びの意欲の向上と学校段階間の円滑な接続を確保するため、ICTを活用した「施設分離型」の小中一貫教育を進めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○校内LAN・教育用コンピュータ・校務支援システムの整備 ・平成30年度に各小中学校において更新整備を行った校内ネットワークを有効活用し、効率的な教育活動を行うため、国が示すガイドラインに提示されている校内ネットワークの3分割化(①校務系ネットワーク②校務外部接続系ネットワーク③学習系ネットワーク)の実現。 ・働き方改革が喫緊の課題となっている教職員について、ICTを活用した校務事務簡略化のため、奈良県が県域で導入を進める統合型校務支援システムの導入。 ・国庫補助事業であるGIGAスクール構想に基づく「一人一台端末」の整備を図るとともに、県域で運用を開始するGoogle社提供の学習支援ツールを授業等で活用するため、児童生徒及び教職員に対し、一人1アカウントの割り当てを実施する。 ○ALT (Assistant of Language Teacherの略。学校で外国語授業の補助を行う外国語指導助手) 派遣 ・生きた外国語の学習や異文化に対する理解を養うため、各小中学校へALTの派遣を行う。 ・幼児期からの国際理解や英語教育を図るため、南畑幼稚園及び西部保育園におけるALTとの交流会を行う。 ○ICTを活用した小中一貫教育導入に向けた調整及び試行 ・令和3年度に小中一貫教育を導入するにあたり、各校間の調整及び遠隔授業を試行。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○ICT機器等整備状況	国のGIGAスクール構想に基づき児童生徒一人一台端末の整備に加え、校内ネットワーク設備を増設。																																																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 類</th> <th colspan="3">設置台数</th> <th rowspan="2">計</th> <th rowspan="2"></th> </tr> <tr> <th>三郷小学校</th> <th>三郷北小学校</th> <th>三郷中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報端末(Windows)</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>150</td> <td>※教員1人1台</td> </tr> <tr> <td>情報端末(Chromebook)</td> <td>460</td> <td>730</td> <td>535</td> <td>1,725</td> <td>※児童生徒1人1台</td> </tr> <tr> <td>電子黒板</td> <td>25</td> <td>29</td> <td>22</td> <td>76</td> <td></td> </tr> <tr> <td>書画カメラ</td> <td>25</td> <td>29</td> <td>22</td> <td>76</td> <td></td> </tr> <tr> <td>校務用PC(ノート)</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>150</td> <td>※教員1人1台</td> </tr> <tr> <td>学習用PC(デスクトップ)</td> <td>35</td> <td>38</td> <td>42</td> <td>115</td> <td></td> </tr> <tr> <td>校務系・学習系サーバ</td> <td colspan="3">各1×2</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				種 類	設置台数			計		三郷小学校	三郷北小学校	三郷中学校	情報端末(Windows)	50	50	50	150	※教員1人1台	情報端末(Chromebook)	460	730	535	1,725	※児童生徒1人1台	電子黒板	25	29	22	76		書画カメラ	25	29	22	76		校務用PC(ノート)	50	50	50	150	※教員1人1台	学習用PC(デスクトップ)	35	38	42	115		校務系・学習系サーバ	各1×2			2													
	種 類	設置台数			計																																																															
		三郷小学校	三郷北小学校	三郷中学校																																																																
	情報端末(Windows)	50	50	50	150	※教員1人1台																																																														
	情報端末(Chromebook)	460	730	535	1,725	※児童生徒1人1台																																																														
	電子黒板	25	29	22	76																																																															
	書画カメラ	25	29	22	76																																																															
	校務用PC(ノート)	50	50	50	150	※教員1人1台																																																														
	学習用PC(デスクトップ)	35	38	42	115																																																															
校務系・学習系サーバ	各1×2			2																																																																
	<ul style="list-style-type: none"> ・情報端末(Windows)、電子黒板及び書画カメラについては、平成28年度より3ヵ年計画で導入。 ・その他、ICT機器については、平成30年度に各校の校内ネットワークの整備と同時に導入。 ・教職員の校務事務簡略化のため、県内全市町村が参加する「県域統合型校務支援システム」を導入。 																																																																			
	○ICT支援員	教育現場においてICT機器の活用が基本となっていることに伴い、その活用方法の助言や運用管理のため、ICT支援員を年間を通じて配置。																																																																		
		(単位:日)																																																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>三郷小学校</th> <th>三郷北小学校</th> <th>三郷中学校</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣日数</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>40</td> <td>110</td> </tr> </tbody> </table>					三郷小学校	三郷北小学校	三郷中学校	計	派遣日数	35	35	40	110																																																					
	三郷小学校	三郷北小学校	三郷中学校	計																																																																
派遣日数	35	35	40	110																																																																
	○ALT派遣	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度より各小学校及び中学校に1校1名ずつALTを配置。併せて、町立幼稚園・保育園にも三郷小学校のALTを派遣し、英語学習や異文化理解等の活動を実施。なお、新学習指導要領により、小学校各学年において、活動時間数を前年度に比して2倍に増。幼稚園・保育園についても、前年度より1時間ずつ増やして派遣。各校園の活動時間等は下表のとおり。 																																																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">対象</th> <th colspan="2">クラス数(A)</th> <th rowspan="2">年間授業数(時間)</th> <th rowspan="2">合計授業数(時間)<A>×</th> </tr> <tr> <th>三小</th> <th>北小</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">中学校</td> <td>学年</td> <td colspan="2">三中</td> <td rowspan="4">35</td> <td rowspan="4">525</td> </tr> <tr> <td>1年生</td> <td colspan="2">4</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td colspan="2">6</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td colspan="2">5</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">小学校</td> <td>学年</td> <td>三小</td> <td>北小</td> <td rowspan="6">各35</td> <td rowspan="6">1,400</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>4年生</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>5年生</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>6年生</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>6年生</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">幼稚園・保育園</td> <td>年齢</td> <td>南畑</td> <td>西部</td> <td rowspan="3">年間授業数(時間)</td> <td rowspan="3">合計授業数(時間)<A>×</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>1</td> <td>1</td> <td rowspan="2">各3</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td colspan="2">45</td> <td>541</td> <td>1,941</td> </tr> </tbody> </table>					対象	クラス数(A)		年間授業数(時間)	合計授業数(時間)<A>×	三小	北小	中学校	学年	三中		35	525	1年生	4		2年生	6		3年生	5		小学校	学年	三小	北小	各35	1,400	3年生	2	3	4年生	3	4	5年生	3	4	6年生	3	4	6年生	3	4	幼稚園・保育園	年齢	南畑	西部	年間授業数(時間)	合計授業数(時間)<A>×	4歳児	1	1	各3	5歳児	1	1	合計		45		541	1,941
	対象	クラス数(A)		年間授業数(時間)	合計授業数(時間)<A>×																																																															
		三小	北小																																																																	
中学校	学年	三中		35	525																																																															
	1年生	4																																																																		
	2年生	6																																																																		
	3年生	5																																																																		
小学校	学年	三小	北小	各35	1,400																																																															
	3年生	2	3																																																																	
	4年生	3	4																																																																	
	5年生	3	4																																																																	
	6年生	3	4																																																																	
	6年生	3	4																																																																	
幼稚園・保育園	年齢	南畑	西部	年間授業数(時間)	合計授業数(時間)<A>×																																																															
	4歳児	1	1			各3																																																														
	5歳児	1	1																																																																	
合計		45		541	1,941																																																															
	○ICTを活用した小中一貫教育導入	<ul style="list-style-type: none"> ・本町については、中学校が1校及び2校の小学校があり、立地的な側面からも「施設分離型」の小中一貫教育を導入予定。このため、令和2年度はICTを活用した遠隔授業の試行として小学校児童を対象とした中学校ALTによる英語授業や中学校と小学校2校をつないだ「中学校体験入学」、また総合的な学習等を通して遠隔による小学校の学習交流等を実施した。 																																																																		

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>◎ICT機器等の整備状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大する中、国のGIGAスクール構想に基づく情報端末の整備を行った。これにより、全児童生徒に情報端末が行き渡り、授業での活用頻度も大幅に増加している。 【成果指標①】 ・昨今、教職員の働き方改革が目される中、奈良県教育委員会が県域で導入を進める統合型校務支援システムを本町でも導入し、これまで紙媒体で管理を行ってきた通知表、指導要録及び出席簿等の校務文書をデータで管理できるようにすることで、校務事務の簡略化を図った。 <p>◎ICT教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT支援員は、ICTを活用した授業の補助や授業展開についての助言等、幅広いサポート業務を行っている。本町では平成28年度よりICT機器の導入を進めていることもあり、各校では、ICT教育に係る専門部会を立ち上げるなど、教職員の情報機器活用能力について一定の成果が見られるため、令和2年度はICT支援員の派遣日数を減少させた。【成果指標②】 ・令和2年度は、国のGIGAスクール構想に基づく一人一台の情報端末(Chromebook)を導入するだけでなく、情報端末をより活用するため、児童生徒及び教職員にGoogleアカウントの付与を行った。当該アカウントは、家庭のPC等で活用することもでき、アカウント上で宿題配布及び授業動画配信等が可能であり、今後、本町において、情報端末の持帰り学習を実現するうえで有益なシステムとなるため、校内での活用を推進することで児童生徒のICT機器及び情報活用能力の向上に取り組んだ。 <p>◎ALT派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度より新学習指導要領が適用される小学校において、5・6年生は年間70時間、3・4年生は年間35時間の授業時間を確保できるよう外国人講師の派遣を行った。 また、授業時間外においても外国人講師に英語で話しかける児童生徒の姿も見られることから、英語や外国人が児童生徒の生活の中に馴染んでいることが窺える。 ・令和2年度より、町立幼稚園だけでなく町立保育園へも外国人講師の派遣を行い、幼少期から多言語や異文化に慣れ親しむことができるよう異文化交流を行った。【成果指標③】 <p>◎ICTを活用した小中一貫教育導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍におけるICT整備の加速に併せて、本町の小中一貫教育の導入に欠かせない「遠隔授業」の実施もスムーズに進み、子どもたちや教員にとって新しい授業スタイルに慣れる絶好の機会になった。
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R1年度	R2年度	決算額(円)
	①ICT教育の推進	ICT機器新規導入数 小中学校合計	台	18	1,725	R 1 3,182,976 R 2 34,037,553
②ICT支援員	派遣日数	日	164	110	R 1 4,469,000 R 2 3,025,000	
③ALT派遣	ALTによる授業時間 各校(園)合計	時間	1,198	1,941	R 1 7,701,540 R 2 11,901,036	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教職員の情報セキュリティへの意識改革。 ②新型コロナウイルス感染症拡大等による休校時の学習保障の一環として、遠隔授業の体制確立が必要となる。
	<p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①一人一台の情報端末や個人アカウントを活用する上で、児童生徒が個人情報やインターネットに潜む危険について理解を深める必要がある。 ②情報端末の持帰り学習を検討する中で、破損、紛失及び盗難時の補償問題や、学習目的外使用により児童生徒がインターネット上でトラブルに巻き込まれる等の様々な問題点が懸念される。

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①外部メモリ等の取扱方法など、情報セキュリティ研修会の開催や学校管理職と連携し、教職員の情報管理に係る意識改革の徹底を継続して行う。 ②中長期にわたる休校時に在宅オンライン授業を実施できるよう、タブレットの整備及び学校現場におけるオンライン授業実施体制の確立を早期に実施する。
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①授業の中で定期的に情報セキュリティやインターネットを活用する際のルールやマナー等、実例を交えて指導を行うよう学校へ働きかける。 ②情報端末破損等に係る補償については、破損・紛失時等の弁償等について保護者に理解を求める必要があることから、持帰り時の使用に係るルールや破損時等の対応等について整備する。

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input checked="" type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大等による休校時のオンライン授業実施体制の確立とともに、ドリームスクール等、不登校や病弱などによる長期欠席の児童生徒を対象としたオンライン授業実施などについても併せて検討する。 ・令和3年度から本格導入するICTを活用した小中一貫教育の実施に当たり、ICTの持つ可能性を教職員と教育委員会と協議し、教育ネットワーク全体の構成や授業の実施方法等について、内容を再検討する。

令和2年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑥いじめ・不登校の対策	担当課名	教育総務課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門機関によるメンタルヘルス相談や中学校への心の相談員の配置による「いじめ」や不登校児童生徒の早期発見・早期指導の実施を継続します。 ・ 教職員経験者など地域の人材の参加を得ながら、多様な教育の展開ができるよう、広域的な連携を含めた支援のあり方を検討します。 				

2 事業概要・目的(P.L.A.N)

事業概要・目的	<p>いじめ・不登校対策として、奈良県が実施するスクールカウンセラー事業を活用しながら、町独自で「心の相談員」を配置するとともに、専門機関にメンタルヘルス相談業務を委託し、児童生徒は勿論のこと、その保護者や教員等の悩みに対しても適切かつ迅速に対応し、児童生徒が安心して学習に取り組むことができるよう相談体制の充実を図る。</p> <p>◎スクールカウンセラー活用事業【県費】 いじめや不登校などの対策として、学校におけるカウンセリング機能を強化するため、臨床心理士などの資格を持ったスクールカウンセラーを中学校に配置する。</p> <p>○心の相談員 生徒の悩み・不安・ストレスに対し、気軽にカウンセリングできる「心の相談員」を中学校に配置する。</p> <p>○メンタルヘルス相談 幼児、児童及び生徒とその保護者や教員等も含め、メンタル面での相談業務を専門機関に委託し、健やかな心身の保持増進に努める。</p> <p>○不登校対策連絡会 町立の小中学校における不登校問題を総合的に検討し、不登校の防止及び登校を促す指導に努め、児童及び生徒の健やかな育成を推進する。</p>
---------	---

3 事業実績・結果(D.O)

事業実績・結果	<p>◎スクールカウンセラー活用事業【県費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三郷中学校へ1名(三郷小学校兼務)、三郷北小学校へ1名配置 <年間勤務日数> 三郷中学校15日・三郷北小学校8日 <p><相談ケース数></p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>①児童生徒</td><td>: 11回</td></tr> <tr><td>②保護者</td><td>: 2回</td></tr> <tr><td>③教職員</td><td>: 2回</td></tr> <tr><td>合計</td><td>: 15回</td></tr> </table> <p><主な相談内容> 不登校への対応、学校生活、友人関係など ※児童生徒へのカウンセリングのほか、教職員などへの助言や学校との情報共有等。</p> <p>○心の相談員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三郷中学校へ1人配置 <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>年間勤務日数</td><td>107日</td></tr> <tr><td>相談ケース数</td><td>385回</td></tr> </table> <p>主な相談内容 不登校問題、学校生活全般、本人に関わる問題など ※その他、全校生徒を対象にこころと生活等に関するアンケートを実施。</p> <p>○メンタルヘルス相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園児、児童生徒、保護者及び教職員の相談に対応するため、ハートランドしぎさんに相談業務を委託し、専門機関による相談を実施。 <p>相談ケース数</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>①園児児童生徒</td><td>: 22回</td></tr> <tr><td>②保護者</td><td>: 24回</td></tr> <tr><td>③教職員</td><td>: 79回</td></tr> <tr><td>合計</td><td>: 125回</td></tr> </table> <p style="text-align: right;">※延べ回数で計上。</p> <p>○不登校対策連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校の児童生徒の実態把握と情報の共有、その後の現況報告並びに対応について協議・検討を行った。 <p>年間開催回数 10回 ※例年毎月開催しているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、縮小実施。</p> <p>○不登校を語る保護者の集い(ブリーズ) ※生駒郡教育長会の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度は2回実施。天理大学大学院教授から、保護者に様々な助言がなされた。 <p>主な内容 ・不登校児童の保護者の交流及び悩みの共有。 ・不登校児童の保護者へのアドバイス。</p> <p>参加人数 保護者8人、教員3人 ※延べ人数</p>	①児童生徒	: 11回	②保護者	: 2回	③教職員	: 2回	合計	: 15回	年間勤務日数	107日	相談ケース数	385回	①園児児童生徒	: 22回	②保護者	: 24回	③教職員	: 79回	合計	: 125回
①児童生徒	: 11回																				
②保護者	: 2回																				
③教職員	: 2回																				
合計	: 15回																				
年間勤務日数	107日																				
相談ケース数	385回																				
①園児児童生徒	: 22回																				
②保護者	: 24回																				
③教職員	: 79回																				
合計	: 125回																				

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>・いじめや不登校、その他、児童生徒の抱える問題に対して、引き続き下記の事業を継続実施し、一人ひとりの状況に応じた相談を実施。</p> <p>①専門的なカウンセリングができるスクールカウンセラーの配置 →前年度まで三郷中学校にスクールカウンセラーを1名配置し、各小学校も兼務して3校を1名で対応していたが、令和2年度からは三郷中学校に1名配置して三郷小学校と兼務し、新たに三郷北小学校に1名配置した。【成果指標①】</p> <p>②生徒の悩みを気軽に相談できる「心の相談員」の配置 →中学校に配置している心の相談員による相談回数は、新型コロナウイルス感染症の影響もあって不安定になる子どもたちも多く、前年度に比して1割強増加したが、休校及び働き方改革の推進から令和2年度決算額は前年度より減。【成果指標②】</p> <p>③専門機関での相談を行うため、メンタルヘルス相談業務の委託(ハートランドしぎさん) →メンタルヘルス相談事業においてハートランドしぎさんの臨床心理士による各校巡回相談では、保護者等から相談を受けた教職員からの紹介をはじめ、学期毎に巡回相談の日程を保護者に案内することにより、各種相談がしやすい体制をとっている。前年度は児童生徒からの相談が大幅に増加していたが、令和2年度の傾向としては、教員からの相談が増加しており、内容としては子どもたちの行動等に係る案件が比較的多かった。しかしながら、相談回数は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休校や相談場所のひとつである病院への立ち入りが不可となったことから、前年度に比して減。 【成果指標③】</p> <p>・「不登校対策連絡会」では、不登校の児童及び生徒の実態把握、指導体制の整備及び家庭との連携強化及び協議・検討を引き続き行った。また、休校期間中の不登校児童生徒の対応についても協議した。なお、連絡会の開催については、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため、全体的に縮小して開催した。 【成果指標④】</p>
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R1年度	R2年度	決算額(円)
	①スクールカウンセラー(県費)	相談回数	回	25	15	R 1 R 2
②心の相談員(町費)	相談回数	回	342	385	R 1 1,905,760 R 2 1,814,610	
③メンタルヘルス相談	相談回数	回	164	125	R 1 570,000 R 2 580,600	
④不登校対策連絡会	開催回数	回	12	10	R 1 3,679,012 R 2 3,751,742	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①不登校児童生徒数に対し、「不登校を語る保護者の集い」の参加者数が少なく、不登校児童生徒の保護者が孤立化している可能性がある。</p> <p>②これまで不登校傾向になかった子どもたちが、コロナ禍での不安増大や人間関係等のストレス等により、突然、不登校に転じるケースなどの対応。</p> <p>【新たな課題】</p> <p>①不登校となる児童生徒の背景には重層的な支援を要する課題も抱えていることがあり、並行して別の関係機関の支援も必要となるケースの対応と連携。</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①保護者に対するサポート方法を具体化するとともに、「不登校を語る保護者の集い」の一定の効果をアピールできるよう内容の充実を図る。</p> <p>②子どもたちがおかれている状況や不安を早期に見極め、不登校に転じる兆候が見える前に、心のケア及び対応が必要となる。引き続き、不登校支援担当の指導主事の指導及び不登校対策連絡会における情報共有及び協議が不可欠である。</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①町において重層的支援の体制が整備されてきており、教育機関のみならず関係機関と情報共有し連携することにより、不登校の要因となる「背景」の問題解決により、不登校も解消される場合も考えられる。このことから、多角的な取り組みも必要と考える。</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・今後も不登校問題をはじめ児童生徒のさまざまな課題に対応するため、相談体制の充実を図るとともに、町行政の関係機関とも連携することで、不登校の児童生徒にICTを使ったリモートによる授業や指導等、多角的に対応し、スクールソーシャルワーカー等の専門職の活用も積極的に行う。</p> <p>・幼少期からのケアも重要であることから、保・幼・小・中及び関係部署や各機関との更なる連携強化を図る。</p>		

令和2年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑦地域の教育力の向上	担当課名	教育総務課 生涯学習課	教育大綱	I「子育てなら三郷町」 II「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 地域と学校が協力しながら、地域の文化や人材を活かした体験学習を継続します。 まち全体が学びの場となるまちづくりをめざして、子どもたちの学習に提供できる場所や資源などの掘り起こしとネットワークの体制強化を図ります。 学校の環境美化や緑化推進活動などについて、各種団体や地域ボランティアの参加協力を得られるように体制の構築を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>◎子ども人権学習支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 少子化や核家族化の進行、就労形態の多様化及び家庭や地域の子育て意識の低下など、子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、放課後の居場所作り及び子どもの様々な活動を支援する事業を実施し、地域ぐるみの教育活動の推進を図る。 各小中学校において、地域指導員の指導のもと、和太鼓、手話コーラス、ゲートボールなど様々な体験活動を展開する。 <p>◎学校支援地域本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティスクール設立を視野に入れ、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的に、学校が必要とする活動に関わるボランティアを地域から募り、学校における環境整備や教育活動の支援の更なる充実を図る。 <p>◎学習支援塾</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学3年生を対象に、地域人材、教職員及び教育委員会が一体となり、放課後を活用した学習支援を行うと共に、進路選択、友人関係及び家庭環境に不安や悩みを抱える生徒の放課後の居場所づくりの一端を担う。 <p>☆上記3事業が県補助事業（学校・地域パートナーシップ事業）の対象であることから、本補助制度を活用し、本町独自の各種事業を継続的に実施。</p>
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	◎子ども人権学習支援事業 →中止																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動名称</th> <th>学校名</th> <th>登録人数</th> <th>実施回数</th> <th>活動内容</th> <th>担当課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>どんどん和太鼓</td> <td>三郷中学校</td> <td>0人</td> <td>0回</td> <td>和太鼓の演奏</td> <td>生涯学習課</td> </tr> <tr> <td>奈良学園大学と学び隊</td> <td>三郷中学校</td> <td>0人</td> <td>0回</td> <td>プログラミング、キャリア講座等</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>多聞クラブ</td> <td>三郷小学校</td> <td>0人</td> <td>0回</td> <td>ゲートボール体験</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>ふれあいクラブ</td> <td>三郷小学校</td> <td>0人</td> <td>0回</td> <td>和太鼓の演奏</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>親子で遊び隊</td> <td>三郷小学校</td> <td>0人</td> <td>0回</td> <td>デイキャンプ</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0人</td> <td>0回</td> <td>凧作り※北小「つながり学級」合同</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>にこやかクラブ</td> <td>三郷北小学校</td> <td>0人</td> <td>0回</td> <td>手話コーラス</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>つながり学級</td> <td>三郷北小学校</td> <td>0人</td> <td>0回</td> <td>軽スポーツ、天体観測、ものづくり等</td> <td>生涯学習課</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症の拡大により、集団感染を引き起こしかねない各種活動については、児童生徒の安全確保の観点から、令和2年度の活動は中止とした。</p>	活動名称	学校名	登録人数	実施回数	活動内容	担当課	どんどん和太鼓	三郷中学校	0人	0回	和太鼓の演奏	生涯学習課	奈良学園大学と学び隊	三郷中学校	0人	0回	プログラミング、キャリア講座等	教育総務課	多聞クラブ	三郷小学校	0人	0回	ゲートボール体験	教育総務課	ふれあいクラブ	三郷小学校	0人	0回	和太鼓の演奏	教育総務課	親子で遊び隊	三郷小学校	0人	0回	デイキャンプ	教育総務課			0人	0回	凧作り※北小「つながり学級」合同	教育総務課	にこやかクラブ	三郷北小学校	0人	0回	手話コーラス	教育総務課	つながり学級	三郷北小学校	0人	0回	軽スポーツ、天体観測、ものづくり等	生涯学習課
	活動名称	学校名	登録人数	実施回数	活動内容	担当課																																																	
	どんどん和太鼓	三郷中学校	0人	0回	和太鼓の演奏	生涯学習課																																																	
奈良学園大学と学び隊	三郷中学校	0人	0回	プログラミング、キャリア講座等	教育総務課																																																		
多聞クラブ	三郷小学校	0人	0回	ゲートボール体験	教育総務課																																																		
ふれあいクラブ	三郷小学校	0人	0回	和太鼓の演奏	教育総務課																																																		
親子で遊び隊	三郷小学校	0人	0回	デイキャンプ	教育総務課																																																		
		0人	0回	凧作り※北小「つながり学級」合同	教育総務課																																																		
にこやかクラブ	三郷北小学校	0人	0回	手話コーラス	教育総務課																																																		
つながり学級	三郷北小学校	0人	0回	軽スポーツ、天体観測、ものづくり等	生涯学習課																																																		
◎学校支援地域本部事業																																																							
<p><主な活動実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>緑化推進活動、花壇整備、朝の登校見守り、図書支援、新1年生の下校安全見守り、さつま芋栽培、機関車（多聞号）清掃、卒業式での汽笛鳴らしなど</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td>緑化推進活動、花壇整備、わくわく農園、図書支援、田植え・稲刈り体験補助、交通安全教室補助、観察池清掃、収穫体験補助（山桃、すもも、金柑、栗）、甲虫の幼虫飼育、校舎内消毒作業、など</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td>家庭科実習(被服)支援、図書支援など</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染防止のため、屋内で児童生徒との接触を伴うボランティア活動を極力控えたことに加え、各種学校行事が中止になったことから、活動内容の縮小を余儀なくされたが、感染症対策を徹底しながら、屋外で実施する活動を中心に児童生徒への学習機会の提供や教職員の補助について、ボランティアの方々の創意工夫のもと、でき得る限りの活動を行った。</p> <p><学校支援ボランティア登録人数> 計：253人(前年度比7人増)</p>	学校名	活動内容	三郷小学校	緑化推進活動、花壇整備、朝の登校見守り、図書支援、新1年生の下校安全見守り、さつま芋栽培、機関車（多聞号）清掃、卒業式での汽笛鳴らしなど	三郷北小学校	緑化推進活動、花壇整備、わくわく農園、図書支援、田植え・稲刈り体験補助、交通安全教室補助、観察池清掃、収穫体験補助（山桃、すもも、金柑、栗）、甲虫の幼虫飼育、校舎内消毒作業、など	三郷中学校	家庭科実習(被服)支援、図書支援など																																															
学校名	活動内容																																																						
三郷小学校	緑化推進活動、花壇整備、朝の登校見守り、図書支援、新1年生の下校安全見守り、さつま芋栽培、機関車（多聞号）清掃、卒業式での汽笛鳴らしなど																																																						
三郷北小学校	緑化推進活動、花壇整備、わくわく農園、図書支援、田植え・稲刈り体験補助、交通安全教室補助、観察池清掃、収穫体験補助（山桃、すもも、金柑、栗）、甲虫の幼虫飼育、校舎内消毒作業、など																																																						
三郷中学校	家庭科実習(被服)支援、図書支援など																																																						
◎学習支援塾																																																							
<p><主な活動実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>46</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>登録生徒数</td> <td>37</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響や悪天候による警報等の影響から、例年、開催回数については変動はあるが、本年度も感染症対策を徹底しながら、生徒の学習機会等を確保することができた。</p> <p>※登録生徒数は、前年度に比べると減少しているが、出席率は高く、各々の生徒が集中して自学自習に専念していた。</p>		令和元年度	令和2年度	開催回数	46	41	登録生徒数	37	21																																														
	令和元年度	令和2年度																																																					
開催回数	46	41																																																					
登録生徒数	37	21																																																					

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>◎子ども人権学習支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方や各種団体の指導の下、世代間の交流を図り、子ども達が日頃経験できない様々な活動を通して仲間とともに協力することの大切さや目標を達成する喜びを学ぶことのできる事業であるが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、児童生徒の安全確保のため、やむなく全ての活動を中止とした。【成果指標①】 <p>◎学校支援地域本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの新規登録者数は、例年、学生登録者の学校卒業に伴う脱退等により新規登録数と脱退数が相殺されるが、着実に登録者数は増加しており、令和2年度は前年度比7名の増となった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、屋内でのボランティア活動の自粛を余儀なくされたが、ボランティアの方々のアイデアで屋外でできる体験活動や環境整備活動を強化してくださったことで、これまで同様に子どもたちの成長や学校運営の支援ができた。また、本年度は、コロナ禍におけるボランティア活動やコロナ終息後のボランティア活動について、ボランティアコーディネーターと意見交換を行い、今後の方向性を検討することができた。【成果指標②】 <p>◎学習支援塾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の休校により、参加を促す周知が十分に実施できなかったこともあり、前年度に比べ登録生徒数は減少したが、登録生徒の出席率は非常に高く、それぞれの目標に向け熱心に学習する姿が見られた。【成果指標③】
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R1年度	R2年度	決算額(円)			
	①子ども人権学習支援事業	参加人数(延べ人数)	人	1,085	0	R1	1,488,244	R2	0
②学校支援地域本部事業	ボランティア登録人数	ボランティア登録人数	人	246	253	R1	941,777	R2	743,923
		ボランティア参加人数(各学校計・延べ人数)	人	2,974	3,087	R1	0	R2	537,724
③学習支援塾	参加人数(延べ人数)	人	645	356	R1	0	R2	537,724	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①『子ども人権学習支援事業』…参加人数が少ない講座の募集方法及び魅力ある講座内容の検討。</p> <p>②『学校支援地域本部事業』…学校支援ボランティアの登録人数と実稼働人数との乖離。</p> <p>③コミュニティスクールを視野に入れた『子ども人権学習支援事業』・『学校支援地域本部事業』両事業の連携と運営</p> <p>【新たな課題】</p> <p>①コロナ禍及びコロナ終息後のボランティア活動の在り方について検討する必要がある。</p> <p>②『学習支援塾』において地域人材であるボランティア講師が現在1名であることから、更なる地域人材の掘り起こしが必要である。</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①『子ども人権学習支援事業』…講座の内容によっては毎年引き続き参加している児童・生徒も多く、例年講座を本当に楽しんでいる姿がうかがえる事業である。令和2年度は全面中止となったが、今後も多くの子どもたちが「参加したい」と思えるような講座内容の見直しや新規企画も検討し、今後も引き続き、奈良学園大学の協力を得て、発展的かつ魅力的な講座の展開を図りたい。</p> <p>②『学校支援地域本部事業』…各校ボランティアコーディネーターの協力を得て、令和2年度は名簿の加除整理に着手した。また、ボランティア活動から離れつつある登録者へも、各種ボランティア活動の案内を配布し、やりがいの感じられる、かつ、少しでも参加しやすい環境を整えるよう努める。</p> <p>③各種事業に係る人材確保及び各地域との更なる連携強化を図ることで、コミュニティスクールの早期導入を目指す。</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①ボランティアの実施形態及び活動内容について、児童生徒、学校及び地域にどのような効果をもたらすか精査を行い、引き続き教育効果の大きい事業になるよう努める。</p> <p>②『学習支援塾』のボランティア講師には教科指導だけでなく、生徒が抱く進路選択への不安や友人関係等の悩みに寄り添える人材が求められるため、新たな人材募集はもちろんのこと、人材育成の期間も考慮した長期的な計画を検討する。</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<p><input type="checkbox"/>現状維持 ※事業の方向性について、現状維持が見直しを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>見直し (内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input checked="" type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <p>児童生徒の成長に直結する事業であるため、今後も引き続き地域と学校との連携を密にし、多くの参加者を募ることで、児童生徒の健全な成長に繋がる事業展開に努める。</p>
--------------	---

令和2年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑧安全・安心の学校づくり	担当課名	教育総務課	教育大綱	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 学校と地域の連携を深め、「子ども見まもり隊」をはじめとした地域ぐるみの見守り活動の展開を支援し、情報交換の場の設置を図ります。 子どもの安全を守るため、パトロールや巡視などの対策を継続するとともに、不審者情報メールの配信先を拡充し、万が一の際にも迅速に対応できる体制の整備を図ります。 園児・児童に対する防犯・交通安全教室を開催し、自ら身を守ることができる教育を進めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども情報ネットさんごう <ul style="list-style-type: none"> 子どもの安全確保を目指し、不審者情報、下校時刻の変更及び休校情報等を登録者にメール配信する。 ○さんごう子ども見まもり隊 <ul style="list-style-type: none"> 学校と地域の連携により、自治会を中心とした住民ボランティアの方々にご協力いただき、登下校時の通学路で見守りを行う。 ボランティアの見守りに併せて、小中学校の登下校時に安全巡視員を通学路に配置(シルバー人材センター委託)し、地域における見守りの必要性を啓発し、ひとりでも多くの目で見守ることで、児童生徒の安全確保を図る。 ○青色防犯パトロール <ul style="list-style-type: none"> 小中学校の下校時にあわせて、町内を巡視する青色防犯パトロールを実施する。 ○防犯・交通安全教室 <ul style="list-style-type: none"> 警察の協力により、小学校及び幼稚園において、防犯・交通安全教室を開催する。 ○子ども110番の家(住環境政策課) <ul style="list-style-type: none"> 子どもが身の危険を感じたとき、また、被害に遭ったとき、子どもを保護し関係機関へ連絡するなどの子どもの安全確保はもとより、「子ども110番の家」の旗を掲げることで犯罪の抑制効果も期待できる。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○子ども情報ネット配信状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>不審者内容</th> <th>配信件数</th> <th>うち町内件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>声掛け</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>つきまとい</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>露出</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>痴漢</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>盗撮</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>傷害・犯罪</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>不審電話</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	不審者内容	配信件数	うち町内件数	声掛け	4	2	つきまとい	2	0	露出	2	1	痴漢	2	0	盗撮	1	1	傷害・犯罪	1	1	不審電話	0	0	その他	0	0	合計	12	5	<p>【配信内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 三郷町及び近隣町で発生した子どもに関わる事件や不審者情報を登録者へメール配信する。 <p>【メール登録人数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童や生徒の保護者、各種団体・関係機関の関係者など計1157人。(令和3年3月末現在)
	不審者内容	配信件数	うち町内件数																														
声掛け	4	2																															
つきまとい	2	0																															
露出	2	1																															
痴漢	2	0																															
盗撮	1	1																															
傷害・犯罪	1	1																															
不審電話	0	0																															
その他	0	0																															
合計	12	5																															
	<p>○さんごう子ども見まもり隊</p> <p>【見まもり隊登録団体及び登録者数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>登録団体の種類</th> <th>団体数</th> <th>登録者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治会等</td> <td>13</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td>学校関係</td> <td>7</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>各種団体</td> <td>15</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td>町議会</td> <td>1</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>教育委員会</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>-</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>37</td> <td>558</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記一覧には含まれない未登録の協力者も多い。</p> <p>○安全巡視員の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> 通学路上の安全確保のため、安全巡視員(シルバー人材センター)を派遣し、各学校の登下校時における交通指導及び巡視を実施。 <ol style="list-style-type: none"> ①三郷小学校区：6人(1日あたり) ②三郷北小学校区：5人(1日あたり) <p>○青色防犯パトロール</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの安全を守るため、小中学校の下校時にあわせて、役場全課の職員が交代制により町内を巡回する青色防犯パトロールを実施。 <ol style="list-style-type: none"> ①三郷小学校校区：年間12回 ②三郷北小学校校区：年間12回 <p>○防犯教室など</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学校・幼稚園で防犯教室を開催。 新小学校1年生を対象に警察より防犯ブザー、防犯交通安全対策協議会よりランドセルカバーを配布。 <p>○子ども110番の家</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録世帯数：479世帯(自治会、学校関係、各種団体など) <p>○防犯カメラの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内「のどか村」に町補助金を活用し設置。(1箇所) 	登録団体の種類	団体数	登録者数(人)	自治会等	13	182	学校関係	7	115	各種団体	15	171	町議会	1	13	教育委員会	1	5	個人	-	72	合計	37	558	<p>【子どもの安全対策連絡会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域との連携及び情報交換を図る場として子どもの安全対策連絡会議を各学期ごとに年3回実施。 <p>【通学路合同点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校より報告のあった通学路上の危険箇所について、町関係各課及び県土木事務所立会いの下、合同点検を実施し、危険箇所の共有及び対策について検討。 							
登録団体の種類	団体数	登録者数(人)																															
自治会等	13	182																															
学校関係	7	115																															
各種団体	15	171																															
町議会	1	13																															
教育委員会	1	5																															
個人	-	72																															
合計	37	558																															

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。 ・町全体で子どもの安全対策に取り組んできた結果、令和2年度においても前年度に続き、子どもの生命や身体に危害を及ぼす重大な犯罪被害はない。また、不審者情報件数も総体的に減少しており、同様に町内における件数も減少傾向にある。全国的に見ても子どもを巻き込む犯罪に対する警戒感等の機運の高まりがうかがえる。これは、地域住民や子ども達の危機意識の向上が犯罪被害防止につながっているものと考えられ、「子ども情報ネットさんごう」受信登録者数も前年度比109人の増で、登録者数の増加は防犯意識の向上に比例しているものと思われる。しかしながら、依然、不審者の出没はあり、地域全体の更なる防犯意識の向上と強固な連携及び協力は不可欠である。【成果指標①】 ・「子ども見まもり隊」の登録人数については、新規で20名の登録があった。しかしながら、未登録の見守り活動の協力者もいる一方、登録のまま活動を休止している人もいることから、登録者数と実働者数は未だ乖離しているものと思われる。【成果指標②】 ・何らかの対策を要する町内通学路危険箇所については、信号や標識等の掲示及び通行規制など、警察等の関係機関への協力依頼を要するケースも少なくないが、その対策の必要性に鑑み、活動強化や通学路の点検協力など、これまでよりも活発かつ具体的な協力体制が見られる。今後も重点的な通学路の点検を進めるとともに、関係機関への要望等の協力依頼を継続していく。【成果指標③】					
	②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R1年度	R2年度
	①子ども情報ネット配信	メール登録者数	人	1,048	1,157	R1 65,400 R2 66,000
	②子ども見まもり隊	見まもり隊登録人数(累積人数)	人	548	558	R1 0 R2 0
	③巡視委託	巡視回数(小学校年間合計・延べ回数)	回	1,810	1,830	R1 2,508,236 R2 2,550,715
	④青色防犯パトロール	パトロール回数	回	96	24	R1 0 R2 0
③事業の課題	【継続的な課題】 ①「子ども見まもり隊」の協力団体や地域による参加率等の温度差。 ②通学路における危険箇所(ブロック塀・交通事故発生エリア等)の把握。 ③通学路危険箇所への対策のための予算確保及び関係機関への協力依頼が必要となる。 【新たな課題】 ①地域住民の協力による見守り活動は、本町においても大きな効果が見られるが、子どもたちに対しても防犯と交通安全に対する意識づけを図ることが必要である。					

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	【継続的な課題に対する改善方法及び結果】 ①「子ども見まもり隊」については、学期ごとの活動報告と活動目的を関係会議において周知するとともに自治会等に対する協力を依頼した。昨今の子どもを巻き込む事件・事故の増加により、全国的に地域の子どもを守る意識の向上が見られ、登録人数が増加している。しかしながら、地域ごとに組織立った見守り体制の構築は依然必要であり、登録も含め、今後もSNS等を利用して「ながら見守り」等の協力についても啓発を推進しつつ、自治会等の団体に協力依頼を引き続き行っていく。 ②教育委員会が主となり、学校・警察・交通安全協会及び役場関係課が合同で通学路合同点検を定期的を実施する体制作りが必要となるが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、会議等の開催が困難となった。 ③逐次、町内道路担当課及び環境整備担当課と情報共有し、国・県の関係機関や県警察への協力または対応を依頼。	
	【新たな課題に対する改善方法の検討】 ①警察や地域住民と協力しながら、交通安全教室や防犯教室等の取組を継続し、登下校時の子どもたちに声掛けやあいさつを通して意識づけを行っていく。	

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容)	<input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大	<input type="checkbox"/> 事業縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し
安全・安心の学校づくりには、地域住民の協力が欠かせないことから、今後も地域と町行政及び関係機関との連携の更なる強化の必要がある。今後も地域住民に対する協力の呼びかけを続け、地域全体で更なる危機感と防犯意識の向上を図るため、「犯罪を許さない、犯罪被害者を生まない町づくり」の基盤強化につながる事業の展開と効果的な啓発に努める。また、協力団体及び各地域における見守り活動の組織化を図り、組織としての活動母体を築くと共に、通学路上等の危険箇所の把握及び改善等の具体的な対策を進める。							

令和2年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑨学校給食体制の整備	担当課名	給食センター (教育総務課)	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校給食衛生管理基準」に基づき、学校給食における衛生管理の徹底を図ります。 ・「食育」の一環として、学校・幼稚園における給食指導を継続します。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○安全安心な学校給食 <ul style="list-style-type: none"> ・職場の衛生管理及び職員の健康管理等を行うとともに、安全安心な給食材料を使用する。 ・安全安心でおいしい給食を提供するため、献立作成にあたっては、児童生徒の個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実情等に十分配慮し、弾力的に運用することを定めた「学校給食摂取基準」に基づき、常に食品の組み合わせや調理方法の改善を図るとともに、魅力あるおいしい給食となるよう努める。 ・栄養管理職員の資質向上を図るため、調理員研修会等に積極的に参加する。 ○食育・地産地消の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通して自らの健康管理ができるようにするために、「食」の指導の充実を図る。 ・農業委員会の指導及び協力を得て、食育の面も含めて「教育ファーム実践事業」を推進するとともに、信貴山のどか村やCAP35の協力も得て、町内産の食材を使用することにより地産地消の推進を図る。 ○給食センターの運営方法 <ul style="list-style-type: none"> ・給食センターの調理・配送等業務については業者に委託し、きめ細かな食物アレルギー対応等、安全安心な給食の提供に努める。 ・給食の栄養価や質の向上を維持していくため、給食費の適正化を図る。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○安全安心の学校給食 <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園及び小学校における保護者を対象とした給食試食会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。 ・安全・安心な学校給食を提供するため、可能な限り国内産食材を使用し、また、地産地消の観点からも、県学校給食会推奨食品や信貴山のどか村及びCAP35の旬の野菜を積極的に使用した。 ・県が実施している調理員研修については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。 ○食育・地産地消の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・食育については、各学校において作成した「食に関する指導」の全体計画をもとに実践。 ・生活科・家庭科や総合的な学習の時間における「食に関する指導」や給食に関わる指導を実施。 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教科等授業時間数 : 4.0時間 ② 給食指導時間数 : 6.0時間 ③ 個別指導その他 : 11.0時間 <ul style="list-style-type: none"> ・「食育推進事業」として、給食センター2階研修室において住民を対象に年間10回のクッキング教室を実施。また、学校給食を身近に感じていただくことを目的に、住民給食試食会を年間述べ15日間実施した結果、153人の参加者を集客することができた。 ・「教育ファーム実践事業」については、農業委員会の指導及び協力を得て、食育及び地産地消推進の観点から、体験授業として各小学校児童がタマネギを本年度の6月に収穫した。また、11月には次年度の収穫に向け、各小学校児童がタマネギの作付けを行った。 ○給食費の滞納状況 <ul style="list-style-type: none"> ・徴収業務として、文書による督促をはじめ、電話・家庭訪問による交渉を行い、滞納の解消に努めた。 <p>【令和2年度末滞納状況】</p> <p>令和2年度末現在の滞納額 149,000円 (6人)</p> <p><内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ①滞納繰越分 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">令和元年度末滞納額</td> <td style="text-align: right;">204,788円 (9件)</td> </tr> <tr> <td>収納額</td> <td style="text-align: right;">12,000円 (1件)</td> </tr> <tr> <td>不納欠損額</td> <td style="text-align: right;">93,588円 (4件)</td> </tr> <tr> <td>令和2年度末滞納額</td> <td style="text-align: right;">99,200円 (4件)</td> </tr> </table> ②現年度分 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">令和2年度末滞納額</td> <td style="text-align: right;">49,800円 (4件)</td> </tr> </table> ○給食センターの運営方法 <ul style="list-style-type: none"> ・給食センターにおける調理・配送等業務は、公募型プロポーザル方式(企画提案方式)により業者選定し、現在、株式会社東洋食品に5ヵ年契約(平成30年8月1日から令和5年7月31日)で委託している。 ・食物アレルギー対応として、卵(鶏卵・うずら卵)・乳製品・エビ・カニのアレルギーについては、除去食により対応。また、卵・乳製品を含むデザートに対しては代替食により対応。なお、牛乳の除去・代替(緑茶・豆乳)については、保護者の意向に沿ってきめ細かに対応している。 	令和元年度末滞納額	204,788円 (9件)	収納額	12,000円 (1件)	不納欠損額	93,588円 (4件)	令和2年度末滞納額	99,200円 (4件)	令和2年度末滞納額	49,800円 (4件)
令和元年度末滞納額	204,788円 (9件)										
収納額	12,000円 (1件)										
不納欠損額	93,588円 (4件)										
令和2年度末滞納額	99,200円 (4件)										
令和2年度末滞納額	49,800円 (4件)										

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や小学校での保護者を対象とした給食試食会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止することとなったが、食育指導では、総合的な事業を通じて新1年生の給食センターの施設探検を開催するなど、給食に対する関心を深めることができた。【成果指標①②】 ・給食費の徴収については、保護者の経済的理由により納付困難なケース等については、「三郷町学校給食費の不納欠損処分要綱」の規定に基づき不納欠損処分を行うとともに、日々の滞納整理については、個別事情を考慮のうえ、再三に渡り保護者と協議及び支払期限毎の電話による確認や家庭訪問による交渉等を実施した結果、滞納額は前年度比55,788円の減となった。【成果指標③】 ・調理配送等業務を民間委託にしたことにより、高度な衛生管理の実現及び安全安心な給食の提供及び調理員の資質向上を図ることができている。食物アレルギー対応については、保護者・学校・給食センターと互いに連携を密にして対象児童生徒にきめ細かな対応を行っており、安全安心な学校給食の提供が図れている。 ・食育・地産地消の推進を図りつつ、安全安心な学校給食を提供できた。農業委員会や信貴山のどか村、CAP35の協力により、徐々に町内食材地産地消率の向上に繋がっている。【成果指標④】 ・住民を対象に実施する食育推進事業「食育クッキング教室」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため9教室を中止することとなったが、献立内容や園児を対象としたクッキング教室を開催するなど、対象年齢層を広くしたことにより多くの参加者を集客することができ、更なる食育の推進に繋がった。【成果指標⑤】
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R1年度	R2年度	決算額(円)
	①給食試食会(幼稚園・小学校)	参加人数	人	188	0	R1 R2
②食育指導	延べクラス数	クラス	41	11	R1 R2	
③給食費の滞納整理	滞納者数(年度末)	人	9	6	R1 204,788(滞納額) R2 149,000(滞納額)	
④食育・地産地消の推進	町内食材地産地消率	%	2.63	3.40	R1 R2	
⑤食育推進事業(食育クッキング教室)	開催回数	回	30	25	R1 R2	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 給食費の徴収については、現年度分の未収額が毎年発生している。また、現年度分はもとより、過年度分滞納額の速やかな徴収が必要である。 ② 令和2年度の食育事業も前年と同じ参加者が大半を占めていたことから、新規の参加者を確保するための幅広いPR方法等、工夫が必要である。 <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 新型コロナウイルス感染症対策を講じる状況下での「食に関わるイベント」の開催方法。
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 給食費の滞納整理については、今後も継続的に実施し、学校からの働きかけはもとより、給食センターからも定期的に保護者に交渉する。 ② 食育事業については、ひとりでも多くの方に事業を認知いただけるよう各学校・園の給食試食会等でもPRするなど、多角的にアプローチしながら、魅力ある食育クッキング教室を企画・開催する。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、クッキング教室などのイベントについては、参加者同士の会食を伴うため、感染状況に応じ、実施方法に慎重な判断が求められる。
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input checked="" type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も農業委員会等の各団体の協力や更なる連携強化を図り、地産地消の積極的な推進及び安全安心な学校給食の提供に努める。 ・今後も農業委員会の指導及び協力を得ながら教育ファーム実践事業を推進し、タマネギの作付・収穫など、子ども達自身の体験を通じて、自然の恩恵や「食」に関わる人々の様々な活動への感謝の気持ちや理解を深める活動を展開する。また、食育はもとより地産地消の重要性などに鑑み、積極的な事業展開を実施する。 ・学校給食において、安心安全でバランスがとれ、多様な食品を適切に組み合わせたおいしい給食を児童生徒に提供していくため、給食費の適正化を検討する。 ・給食費の滞納については、学校との連携強化をさらに図り、滞納額の解消に努め、今後も引き続き『滞納ゼロ』を目指して滞納整理に努める。 また、「三郷町学校給食費の不納欠損処分要綱」の規定に基づき、必要に応じて不納欠損処分の手続きを行い、適正な滞納整理を実施する。 ・フェイスブックやカレンダーアプリ「ジョルテ」を活用し、学校給食の献立掲載等、SNSを活用した情報の提供を継続して行う。 ・住民を対象とした「食育クッキング教室」や「給食試食会」の開催を通じ、食育事業を引き続き推進する。

令和2年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑩幼児教育の充実	担当課名	こども未来課 南畑幼稚園	教育大綱位置づけ	I「子育てなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領に基づく、適切な教育課程の編成を行います。 ・幼児の心身の発達と義務教育及びその後の教育の基礎を培う幼児教育の充実に努めます。 ・地域に信頼される開かれた幼児教育を推進します。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児が、自然な生活の流れの中で直接的・具体的な体験を通して社会・文化・自然、そして、ひと・もの・こと、などに触れ、豊かな感性を育み、生きる力の基礎を培う環境づくりに努める。 ・幼児一人ひとりの特性に応じた発達の課題を見極め、個々の成長を援助し、幼児期に育むべきことを幼児期にふさわしい生活を通して育てることで、円滑に小学校へ移行できるようにする。 ・保護者や地域の方々に信頼される幼稚園を目指し、幼稚園の機能を活かして預かり保育や教育相談を行い、子育て支援に努める。 ・研究テーマ「夢中で遊ぶ子どもをめざして」に向かい、保育内容の充実を図る。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園教育 <ul style="list-style-type: none"> ・園長通信やクラス通信を通して言葉や姿を掲示し、幼児期に必要な経験や育てたいことなどを伝え、幼稚園教育の情報発信を行い理解を深める。 ○特別支援教育 <ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする園児の教育支援計画及び個別指導計画を作成し、保護者や関係機関との連携に努めた。また、職員のスキルアップや幼児理解を深めることを目的として、巡回アドバイザーによる園内研修を実施。 ☆町の巡回相談…8回 ○子育て支援及び一時預かり保育 <ul style="list-style-type: none"> ・子育てや発育に不安を感じる保護者の思いを受け止め共有することにより、保護者が楽しく、ポジティブに子育てができるように教育相談を行った。 ・未就園児が円滑に幼稚園生活になじめるようプレ保育を行う予定であったが、コロナ禍の中で1度も行うことができなかった。9月に見学会を2回、10月に入園に向けて健康診断および面接を行い、短い時間ではあったが入園に向けての不安や疑問に答えることができた。 ・家族の通院や介護、兄や姉の授業参観等のほか、保護者の就労時間や各家庭の諸事情により、緊急又は臨時的に降園時刻以降の保育の必要が生じた場合に、できる限り対応し、一時預かり保育を行った。 ○環境づくりへの取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・毎月各クラスの子どもの姿や遊びの流れを出し合い、保育室及び園内の環境構成を考えた。 ・月案、週案を立てる中で先を見通した環境構成を考えた。また、保育終了後に幼児の姿を振り返り、明日に向けて環境の再構成を行うことに努めた。 ○保育内容の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の発達過程をふまえながら、時期や季節を逃さないよう、5領域の活動を偏ることなく経験できるように計画を立てた。また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を心におき幼児の姿を分析した。 ・園外の環境に目を向け、園外に出かけ豊かな自然や建造物にふれ、美しさや不思議さ、偉大さを感じることができるよう努めた。 ○ALTとの交流(年間7回) <ul style="list-style-type: none"> ・年中～年長児が歌や遊びなどを通じて外国語や異文化に触れ、コミュニケーションの楽しさを感じることができる「ALTとの交流」を実施。(年中2回・年長5回)
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育の情報発信はできるだけタイムリーに伝えるようにしてきたことで、幼稚園の生活を感じていただくことができた。また、学級通信の写真をカラーにすることで見やすくなり好評を得た。 ・特別支援教育においては、こども未来課の事業である「ひまわり教室」「巡回相談」が2年目を迎え保護者や教員にも活用の仕方が定着してきた。そのため、発達に課題をもつ幼児について、早い時期に懇談の機会を設け発達を助長することができた。また、巡回相談の実施によって、教員が幼児一人ひとりに応じたより多くの支援方法を学ぶことができた。 ・預かり保育については、突発的な理由での利用が多かった。コロナ禍での生活であったため、小学校、中学校の参観・懇談もなく利用が減少した。 ・未就園児のいる家庭に在園児が遊ぶ姿を見てもらうことや、教員と一緒に遊ぶ機会をもちたかったが、今年度は開催することはできなかった。入園説明会、新入園児健康診断では少しではあるが、入園にあたっての保護者の思いを聴くことができた。 ・環境づくりへの取り組みは、長期、短期的に考える習慣、日々の保育を振り返り反省を活かして環境を再構築していく習慣を身に着けることで流れのある環境を構成することにつながった。 ・保育内容の充実については、管理職も含めそれぞれの経験年数の中でいろいろな内容、考え、方法を出し合い実践し、教員の新たなチャレンジにつながった。 ・ALTとの交流を通して英語に親しみ、話す楽しさを感じることができた。
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R1年度	R2年度
①預かり保育		実施回数	回	245	31

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①教育相談や保育内容の理解、また、家庭教育啓発のために保護者と連携できる関係性を築く。 ②「幼児期の終わりまでに育ってほしい力」について保育園とも情報を共有しつつ、就学前教育の充実に向けた保幼小の連携体制づくり。 ③教育課程に基づいた組織的・計画的な教育活動の質の向上。 ④幼児理解を深めるための保育の記録の活用。</p> <p>【新たな課題】</p> <p>①幼稚園での安心安全な生活の確保</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①電話連絡・家庭訪問などで、教員が保護者との積極的なコミュニケーションに努めるとともに保護者の願いや子育ての悩みに寄り添い、向き合ってきた。その結果、保護者との信頼関係は深まりつつあるが、相談を受ける保護者が限られており、多くの保護者の声を聞き取るころまでは至らなかった。保育内容の理解については、園長通信、クラス便りを通して幼稚園でどのような活動をしているのかは知っていたが、教育的な意味まで深く伝えきれなかったのではないかと感じる。今後伝え方、写真掲示の方法を工夫していきたい。</p> <p>②今年度はコロナ禍の中、気になる幼児・保護者の情報交換は行ってきたが、保育園、小学校と連携をとりながら教育を進めていくことがむずかしかった。生活が制約される中ではあるが、互いの教育活動について理解しあえるよう工夫を凝らしていかなければならないと感じた。特に保育園とは連携を強化し教員の交流も活発に行っていきたい。</p> <p>③年度初めに教育課程の共通理解をし、年間計画の見直しを行い保育内容についてより分かりやすく細かく計画を立てたので日々の保育に活かしやすくなったが、計画倒れになった内容もあったので、今後は長期的・短期的に見通した計画を立て点検を行いながら実践につなげたい。</p> <p>④今年度は、未就園児を対象としたプレ保育を計画していたが全く行うことができなかった。コロナ禍の生活が続くようであれば、少しでも幼稚園を感じてもらえるよう、感染対策、日程なども考慮して実施できるように考えていきたい。</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①消防計画・安全計画・保健計画などの見直し点検を行い、日常における幼児の安全確保・幼児の安全生活に対する意識向上を図る。</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> ・教員の資質向上・教育方向上のために、幼稚園教育の基本である「環境による教育」を教員で切磋琢磨しながら考えていきたい。そして、教育の場である幼稚園を保護者に情報発信していく。 ・研修に長い時間を費やすのではなく、日々の保育の中で気づいたこと、感じたことを言い合える職員関係を構築する。 ・プレ保育については、年間計画を作成し、幼稚園教育や幼稚園の生活を保護者に知ってもらうとともに、幼児・保護者との信頼関係作りに取り組む。 ・教育相談を積極的に行い、保護者の思いを教職員で情報共有をしながら、対処方法など関係機関との連携を含めてその子に応じた対応を考えていく。 ・幼児が安心、安全に幼稚園で生活できるよう、毎月の園内外の点検、見直し、日々の保育室内の消毒をし、必要に応じて関係機関に報告する。また、毎月避難訓練を行い幼児自身の安全に対する意識を高める。 		

令和2年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	①生涯学習の推進	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 時代に即応した町独自の学習の企画・開発に努め、より多様で充実した学習機会の提供を進めます。 知識・経験をもった人材が生涯学習に活躍できるよう、各種講座へのボランティア派遣制度の構築を図ります。 各種団体、学校、企業などの協力を得ながら、住民ニーズに合った学習講座の開催と様々な情報提供システムの構築を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○学習基盤の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が主体的な活動により、心身ともに健康で豊かな人生を送ることができるよう、多様な分野での学習活動の場を提供する。 ○地域住民等の人材の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施に伴い、活動を担う指導者やボランティアの育成を図り、地域住民等の人材を活用するとともに、その団体やグループに支援を行う。 ○各種学級事業 <ul style="list-style-type: none"> ・自主的な学習を支援するため、学習に必要な講師等を招き、住民ニーズに応じた各種学級を開講する。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○学習基盤の整備 社会情勢や住民ニーズを取り入れ、時代に沿った学習内容とする。						
	○各種学級の運営状況						
	学級名	目的	事業内容	R1年度		R2年度	
				学級生数	開催回数	学級生数	開催回数
	家庭教育学級	家庭教育の重要性や役割を認識し、子育てやそのあり方について学びつつ保護者同士のネットワーク機能を充実させるとともに、自らを振り返り、様々なことを学習する場を提供することで、安定した明るい家庭づくりを図る。	中止	33人	9回	34人	0回
	長寿学級	熟年者として、時代の流れに対応できる生き方・暮らし方を探求し、自主的・意欲的な学習活動を通じて、生き甲斐を感得する。	・健康体操 ・音楽鑑賞 ・講演等	61人	9回	56人	5回
	くれない学級	教養を高め、自主的・意欲的な学習活動を行い、女性としての生き甲斐を高める。	・コンサート ・ヨガ ・創作 ・マジックショー等	64人	9回	66人	5回
歴史教養講座	身近な歴史とふれあい、個々の知識を深め心豊かにする。	・講義8回 (「永観堂禅林寺・京都御所」等)	58人	12回	58人	8回	
みさと万葉学習会	万葉集の学習を通じ、知識を深めるとともに町の歴史と文化について関心をもち、心豊かにする。	・講義7回 (奈良女子大学 奥村和美先生等)	79人	12回	79人	7回	
※5学級合同学習会：当初予定の7月11日(土)「人権学習会」及び10月24日(土)「教育講演会」、2月健康福祉学習会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。							

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○各種学習の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習学級として「家庭教育学級」「長寿学級」「くれない学級」「歴史教養講座」「みさと万葉学習会」の5学級は、一部中止をしたものの、感染防止対策を講じながら可能な限り開催した。また、登録者数は、延べ293名で、前年度より2名の減となったが、新型コロナウイルスの影響を受けたものの、概ね昨年度に近い登録者数を確保できた。今後は、学習内容の更なる質向上のみならず、町の施策や町内で活動する他の団体とも連携しながら、より身近に活かせる学習内容を模索していく。【成果指標①】 各学級の現地学習で使用するバスの賃借料については、町が一部を負担することにより、学級生の負担軽減を図ったが、令和2年度は現地学習を中止したため、前年度に比して減額となった。【成果指標①】 各学級の運営は、それぞれの運営委員会により事業内容等を検討し、学級の自主的な運営を促した。 学習内容については、引き続き学級生から希望の聞き取りを行い、反映させるよう努めた。 <p>○地域住民等の人材の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学級の講師には、町の文化教室や各施設のボランティア団体等を活用するなど、地域人材の活用を図り、地域の活性化を図るとともに、内容のバリエーションを広げるために町外の講師の招聘や奈良県登録の講師及び他機関の人材も活用し、内容の充実を努めた。
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R1年度	R2年度	決算額(円)
	①生涯学習学級	登録者数	人	295	293	R 1 1,200,979 R 2 577,199

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生涯学習の各学級は、受講者には人気があることから例年同内容で継続しているが、社会情勢や住民ニーズを的確に捉えながら内容の刷新を図ることが必要である。 ②各学級生の高齢化や学級の地区役員が担当するエリアの広さから、役員にこれまでと同様の役割や負担を求めることが難しくなっている。 ③全ての学級において、多くの講義や現地学習が新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止となっており、次年度以降においても講義の開催の可否、開催場所、開催方法などに大きな影響が出ることが予測される。流動的な状況に適応すべく、事前に学習方法を模索していく必要がある。 <p>【新たな課題】</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学級の学習内容については、学級生の自主運営を促し、そのニーズを反映させていくと共に、様々なジャンルの講師の活用を図り、柔軟に学習テーマを変化させる。 ②引き続き極端な負担の偏りのないよう事務局も協力しながら、「学級生による自主運営」を促しつつ、幅広い世代の学級生の入級を促進する。 ③新型コロナウイルス感染症対策を引き続き実施しつつ、新しい形の学習体制を検討していく。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民が主体的に学習できる学級運営を引き続き行う。 講師やボランティア等、地域の人材や歴史、産業などの資源を掘り起こし、活用する。 社会の変化に合った学習内容とし、生涯教育の更なる充実を図る。 各学級運営に工夫を凝らし、学級生の増加と幅広い世代の学級生の入級を促進する。

令和2年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑩青少年の育成	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	・児童・生徒の育成のため、問題行動の解決に向けた地域ぐるみの取り組みを推進するとともに、関係機関と連携し、早期発見・早期指導の体制充実を図ります。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>○青少年育成三郷町民会議 青少年問題の重要性に鑑み、関係機関および団体の緊密な協力により、広く町民の総意を結集し、次代を担う青少年の育成を図る。</p> <p>①ふれあいのつどい ・家族・地域社会等のふれあいを築くことを目的に開催する。</p> <p>②教育講演会 ・次代を担う青少年の育成を図ることを目的として講演会を開催する。</p> <p>③問題行動等防止 ・巡回指導の実施及び関係団体の協力のもと、夏休み・春休みに町内の巡視を行う。</p> <p>○成人式 新成人の門出を祝福するため「成人式」を開催する。多くの新成人に参加してもらえるように努める。</p>
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○青少年育成三郷町民会議</p> <p>①指導推進部会 幼保小中高の子どもたちの様子や長期休業期間の生活の様子などについて学期毎に意見交換を行い、情報を共有し、各校園において児童生徒等の指導に当たった。また、情報を共有することにより、学校のみならず、町全体の問題として地域の理解を深め、学校、保護者、地域、関係機関等の連携強化を図った。</p> <p>②調査研究部会 町民会議委員を対象に「学校と地域の新たな協働体制づくり」というテーマで研修会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。</p> <p>③啓発促進部会 町民会議の各種事業に係るポスターの作成や広報、また「子ども・若者支援強調月間」のポスター募集等の啓発活動を展開した。</p> <p>④地域活動部会 「ふれあいのつどい」開催に係る内容・役割分担等、関係機関と協議及び連携し、事業開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</p> <p>⑤関係機関との連携 「三郷町要保護児童対策地域協議会」や「定例人推連絡会」と連携を図り、幼児・児童・生徒が置かれている現状を共通認識し、青少年の育成を図った。</p> <p>○問題行動等防止 ・巡回補導（生駒郡4町合同（生駒郡青少年指導連絡協議会）で実施） 実施日：令和2年8月13日（水）</p> <p>・巡視活動 学校の長期休業期間に公用車による町内巡視（13回）を実施。 ※例年、関係機関の協力のもと行っているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、警察官同行により教育委員会事務局職員で実施。 （巡視時間 20時～21時） 実施日：夏休み期間 7月28日（火）30日（木） 8月6日（木）11日（火）18日（木）20日（木）25日（火）27日（木） 春休み期間 3月23日（火）24日（水）25日（木）26日（金）</p> <p>○成人式 期日：令和3年1月10日（日） 場所：スポーツセンター及び文化センター 参加人数：164人 新型コロナウイルス感染症対策を講じ、式典及び撮影会場の変更や式典の短縮をして開催した。</p>
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>○青少年育成三郷町民会議 ・新型コロナウイルスの影響で計画していた事業の中止もあったが、児童・生徒の問題行動について、突発的な事案に対し、定例会推進協議会や町行政と教員・家庭・地域の間で緊急協議を逐次実施。青少年の真の問題点の把握・分析を行い、各関係機関と密接な連携を図ることにより、各部会の活動を実施し、青少年の育成を図った。</p> <p>○ふれあいのつどい・・・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 【成果指標①】</p> <p>○教育講演会・・・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 【成果指標②】</p> <p>○問題行動等防止巡視 ・警察官同行のもと教育委員会事務局職員により13回の夜間巡視活動を縮小して実施。夏休み期間中には、信貴山のどか村入口付近で単車4台の5名に遭遇し、煙草を所持していた未成年2名を補導した。今後も引き続き西和警察署と連携し、巡視を継続していく。 【成果指標③】</p> <p>○成人式 ・対象者247人のうち参加者が164人で、参加率は前年度72.3%から本年度は66.4%と5.9ポイント減少した。新型コロナウイルスの影響が考えられるものの、感染症のクラスター等が発生することもなく、式典を無事に開催することができた。今後も引き続き7割以上の参加率の目標にしながら、参加者の安全を最優先とした開催に努める。 【成果指標④】</p> <p>※青少年の育成については、年々、家庭・学校・地域・行政の協働と連携の強化は図られている。今後も問題行動等の早期発見、的確な助言及び指導を通じて、問題行動等の未然防止や問題解決に努める。</p>
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R1年度	R2年度	決算額(円)	
	①ふれあいのつどい	参加人数	人	144	0	R 1	882,979
②教育講演会	参加人数	人	257	0	R 2	60,861	
③問題行動等防止巡視	巡視回数	回	13	13			
④成人式	参加率	%	72.3	66.4	R 1	353,918	
					R 2	485,507	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】 ①成人式については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止にする判断が難しく、オンライン開催よりも現地開催を希望する声も多いため、開催の是非は慎重な判断を要する。</p> <p>【新たな課題】</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】 ①新型コロナウイルス感染症の今後の拡大状況に対応するため、対策に必要な会場やスタッフや備品の確保を始め、状況に応じた事前準備と協議を事前に行い、担当課以外の協力を仰ぎながら、より安全に開催できる方法を検討する。</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・青少年の育成には地域の協力が必要不可欠であることから、今後も関係機関等と連携を密に図り、協力を求めながら取り組む。</p> <p>・成人式については、令和4年度以降の対象年齢の見直しに伴い、「成人」に替わる新しい「20歳」のカテゴリーを作り、式典を開催する。</p>		

令和2年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑬人権教育・啓発の推進	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 住民の自発的な啓発活動を促進するため、情報や学習機会の提供などの支援を強化するとともに、学校教育や社会教育を通じて人権教育の内容の充実を図ります。 行政、関係機関・団体等の連携によって、住民の立場に立った、利用しやすい人権相談窓口と体制の充実を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○識字学級 <ul style="list-style-type: none"> ・教育を受ける権利を保障されなかった方に、文字などを学習する機会を提供する。 ○人権教育地区別懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの中にある疑問や不合理などを話し合い、人権問題を身近な課題として捉え、人権確立を図る。 ○人権問題学習セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育の推進を図るための人権問題学習セミナーを実施する。 ○人権に関わる相談や対応 <ul style="list-style-type: none"> ・人権に関わる相談や人権侵害事象に対応するため、関係機関と連携を図りながら問題解決を行う。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○識字学級 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止(当初予定:毎週月・木曜日の午後2時～) 登録者数:3人 学習内容:文字の練習、数字の計算、ローマ字練習、習字等 ○人権教育地区別懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ・「コロナ禍と人権(子どもの人権)」をテーマとして、14会場で開催。 新型コロナウイルス感染症に関連するニュース報道がされ、不安感に包まれる中、各地で起こった人権侵害の実態と感染症差別の起こる原因を学び、「コロナ差別をなくすにはどうすればいいのか」そして「今何をすべきか」について考えた。 参加延べ人数:182人 ○人権問題学習セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・3回の講演を実施。2回実施予定していた現地学習は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【講演】 (1回目) 期日:令和2年7月19日(火) 場所:文化センター 文化ホール 講師:県立教育研究所学校経営アドバイザー 中村 衛氏 演題:「人権教育このよきものを」～三郷で学び、コロナ禍で見えてたこと～ (2回目) 期日:令和2年8月29日(土) 場所:文化センター 文化ホール 講師:松原市立布忍小学校 沖村 香織氏・林 賢育氏 (3回目) 期日:令和2年9月25日(金) 場所:文化センター 文化ホール 講師:NPO法人スペシャルオリンピックス日本・奈良 理事 胎中 晴美氏 演題:「共に生きる」～つながりあって、支え合ってすべての人がオンリーワンで人生のヒーロー 延べ参加人数:228人 【現地学習】・・・中止 ○人権に関わる相談や対応 <ul style="list-style-type: none"> ・人権問題啓発活動推進本部、人権教育推進協議会などの関係機関と連携を図った。 ・「人権を確かめあう日県内一斉集会」、「差別をなくす町民集会」などの事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○識字学級 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止【成果指標①】</p> <p>○人権教育地区別懇談会 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3蜜の対策をとるために講師の講演を撮影し、少人数によりDVDを視聴して研修を実施。自分たちの力で「安心して暮らせるまちづくり」「人権が守られるまちづくり」等をどう作っていくのかを考える地区別懇談会となり、「もう一度研修したい」という自治会もあった。【成果指標②】</p> <p>○人権問題学習セミナー ・今年度は「人権教育」「集団づくり」「地域連携」「共に生きる」といった様々なテーマを盛り込んだ。人権教育が拓く社会で何事にも「子どもファースト」で物事を考える。同じ地域に住む私たちが子どもたちのことを「知る」事の大切さや「学校と協力」しながら子どもの人権を守るまちづくりを進めるための問題提起する講演・学習となった。【成果指標③】</p> <p>○人権に関する相談や対応 ・関係機関と連携を図りながら随時対応できる体制を整えた。</p>
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R1年度	R2年度	決算額(円)
	①識字学級	実施回数	回	63	0	R1 9,720 R2 0
②人権教育地区別懇談会	参加者数	人	538	183	R1 398,029 R2 54,762	
③人権問題学習セミナー	参加者数	人	445	228	R1 368,400 R2 50,000	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①人権教育地区別懇談会については、ここ数年、一定の参加者はあるものの、大部分の地域で参加者の固定化、高齢化といった課題を抱えている。</p> <p>②人権教育地区別懇談会を15会場において自治連合会等単位で実施しているが、それぞれの地域住民の世代構成の違い等が顕著になってきていることから、幅広い世代に対応できる共通テーマの検討が必要である。</p> <p>③人権三法の啓発に加え、LGBT、発達障がい、インターネット、高齢者問題など、多様化する様々な問題に対する人権教育の推進。また、新型コロナウイルスに関わる誹謗中傷に対する人権侵害対応。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①人権教育地区別懇談会については、参加者のニーズを十分把握するとともに、実施に当たっては、その周知方法も含め、各自治(連合)会長と綿密な連携を図りながら、開催に係る啓発等についても協力して進める。</p> <p>②人権教育地区別懇談会について、開催時に実施している参加者のアンケートや総括会議等での意見も参考にしながら、時世とニーズに合わせた計画を立案していく。</p> <p>③多様化・複雑化する新たな人権問題に対応できるよう、学識経験者等の意見を取り入れ、研修会等の啓発・啓蒙に反映させる。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p>
		<p>・人権は誰もが持つ普遍的な権利であり、その人権が尊重される地域社会を確立するために、学習機会の提供を図るとともに、今後も人権相談等の体制を充実する。また、あらゆる事業に人権の視点が入っているかを注視していきたい。</p> <p>・新型コロナウイルスの感染拡大終息後の各種事業の在り方について検討していく。</p>

令和2年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑭文化センターの充実	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	・講座修了のグループが、個々の活動を自主的に展開できるように、コーディネート体制の確保を図ります。 ・施設の有効利用を図るため、使用料の設定など、運営の改善に努めます。 ・施設の機能向上を図るため、利用者のニーズにあった改修を計画的に進めます。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	○グループ活動の支援 ・自主的な文化活動を行うグループなどに対し、有意義な活動ができるよう支援を行う。 ○各種講座の開設 ・文化センターにおいて、町民の芸術文化に対する関心を高めてもらうため、文化講座、健康講座等を実施。 ○指定管理者制度の活用 ・民間の経営や事業展開のノウハウを活用し、より充実した施設管理を行うため、公益財団法人三郷町文化振興財団を指定管理者に指定することにより当該財団の自主事業との相乗効果が期待できる。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○文化講座・健康講座		[単位/人]		
	No.	講座名	内 容	延べ受講者数	
				R1年度	R2年度
	1	カラオケ教室(女性専科)	初心者向け教室。カラオケデビューの第1歩に。	74	-
	2	楽しく学ぶ音楽講座①	サクソ奏者の講師が、音楽にまつわる様々な話題を、演奏を交えながら、楽しく紹介します。	21	-
	3	楽しく学ぶ音楽講座②	トロンボーン奏者の講師が、音楽にまつわる様々な話題を、演奏を交えながら、楽しく紹介します。	25	-
	4	銭太鼓	2本の筒状の棒を慣れ親しんだ曲に合わせて楽しく打ちます。	-	54
	5	寄せ植え教室	初心者の園芸のコツと、四季に応じた寄せ植えを実習します。	60	-
	6	折り紙教室	季節に応じた小物(箱等)やアクセサリ等かわいい折り紙を仕上げます。	63	34
	7	消しゴムハンコ	消しゴムで好きなデザインを彫るコツを教わります。	42	13
	8	チョークアート	ブラックボードとオイルパステルで指を使って描きます。	40	-
	9	ソックモンキー (くつしたぬいぐるみ)	1足の靴下から1体のぬいぐるみを作ります。	-	28
	10	大人可愛いジュエリー バッグ	輝くテープとネットで仕上げて、エレガントで軽くて実用的なハンドメイドバッグを作ります。	41	40
	11	ペン字・筆ペンレッスン	季節のお便りや慶弔の表書きなど日常生活に必ず役立ちます。	128	66
	12	己書教室	味のある文字と絵、自由に筆を走らせる書です。	-	76
	13	ケーキ教室	オリジナルレシピの手作りケーキを楽しみ、生活を豊かにします。	146	-
	14	整理・収納入門	片付けが苦手な人もそうでない人も、「コツ」を知り、快適空間づくりを実践します。	48	62
	15	入門健康まあじゃん	「飲まない、吸わない、賭けない」健康まあじゃんで脳トレと友達作りを。	-	24
	16	はじめての中国語	中国語の発音を正しく身につけて、日常会話を習得します。	59	-
	17	ハングル入門	読み書きを中心に、会話も取り入れながら学びます。	86	56
	18	英会話レッスンツアー (初級英語)	初級レベル。旅行気分楽しく英会話を学びます。	86	-
	19	着付け入門	浴衣から外出着まで、初歩から紐のみで着付けを学びます。	48	62
	20	ストレッチフラダンス(女性専科)	自然賛歌を全身で表現、心と体を癒します。	59	38
	21	ゆる体操初級	固まった身体をゆるりとほぐして血行を促します。	78	-
	22	ツボ療法	からだの不調の原因はツボに表れます。ツボを知れば自分の体調管理ができます。	35	39
	23	やさしい朗読教室	童話やエッセイなどの朗読を通じて、豊かな表現力を身につけます。	105	64
24	万葉集であそびましょ	万葉集を通して現代人に通じる生活を学び、万葉集で遊びましょう。	81	-	
25	童謡をうたおう	口ずさんだことのあるような童謡や、新しい童謡にも挑戦しながら楽しく歌います。	67	-	
26	はじめての絵手紙	季節を感じて受け取った方も笑顔になれる絵手紙を描きましょう。	-	34	
合 計			1,392	690	
○文化センター利用率					
		令和元年度	令和2年度		
・文化ホール		10.7%	7.3%		
・展示ホール・ロビー		19.2%	27.6%		
・会議室・研修室・音楽室		33.2%	27.7%		
・創作室・和室・茶室・視聴覚室		18.6%	15.3%		
・リハカ室・調理室・陶芸室ほか		23.1%	19.8%		
センター全体の利用率		23.6%	20.2%		
○文化センター改修(主な改修)					
・三郷町カーボン・マネジメント強化事業 文化センター整備工事		46,633,400円			
・文化センター陶芸窯入替工事		1,897,500円			
・文化センター音楽室等床材張替工事(臨時交付金)		1,859,000円			
・文化センター2階女子トイレ洋式化工事		1,100,000円			
・文化センター高圧気中開閉器取替工事		655,600円			

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○文化講座・健康講座</p> <p>・令和2年度は、新規の4講座を加えて受講者の募集を行い、15講座を開講した。募集時期が新型コロナウイルス感染症拡大防止のための閉館時期と重なったため応募が少なかった。また、歌唱や調理(飲食)を伴う講座は中止とし、開講も5月から10月に変更となったため、開講までの辞退者も多く、受講者数は令和元年度の1,392人から690人へと、半数程度となった。なお、講座数、受講者数は減少したが、少人数のため講師や受講生同士のコミュニケーションは良く取れていたこと、外出を控えている中で講座をととても楽しみにしていただいていたことから、生きがい・仲間づくりの契機となっており、今後も魅力ある講座を開講していきたい。【成果指標①】</p> <p>○文化センター利用状況</p> <p>・利用者数の把握が難しい施設もあることから、利用率(年間:各施設利用日数(コマ数)÷開館日数(コマ数))により評価を行う。令和元年度と比較すると、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、4~5月末まで施設を閉館し、6月の再開以降も定員の制限や歌唱、調理(飲食)を伴う活動を禁止したことにより全体的に利用率が低下した。【成果指標②】</p>
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R1年度	R2年度	決算額(円)
	①文化講座※		参加者数	人	1,392	690
②文化センター (決算額は指定管理委託料)		利用率	%	23.6	20.2	R1 38,999,997 R2 40,927,594

※各教室開催経費は指定管理委託料に含まれている。

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①施設の維持管理において、経年劣化による不具合や故障が頻発しており計画的に改修する必要がある。</p> <p>②文化講座受講者の世代・性別による偏りをなくし、多様な住民の関心を集めることが必要。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①文化講座の開講にあたり、継続して新型コロナウイルス感染症対策を講じる必要がある。施設の定員制限や利用制限を設けたことにより従来の講座を行うことが難しくなっている。</p> <p>②文化講座終了後に自主的なクラブ活動としての継続が難しい。(講師がクラブとしての継続を希望しない。少人数だと講師謝金や施設使用料による個々の負担が大きい。習熟度の差から既存のクラブに入りにくい。受講者からクラブの代表となる人材が必要。)</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①令和2年度に設けた長寿命化計画に基づき、緊急性を勘案しながら計画的に改修する。</p> <p>②受講者のニーズを的確に捉えるためアンケートを実施し、今後の講座の参考とする。ニーズはあるが道具や材料等の初期費用が高額のため開講できないものは施設備品を拡充して貸出すことを検討する。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①感染症対策備品の充実とこまめな消毒の実施により、感染リスクを抑えて講座を開講した。応募が募集人数に満たない場合は不開講としていたが、今後は募集人数を減らし、少人数での開講を検討する。</p> <p>②講師が指導を継続することを希望するような流行に左右されにくい内容の講座を検討する。受講者の習熟度を高めるため、同じ講座を次年度も継続して受講できるようにする。少人数のため活動を始められないクラブへの入部を受講生へ勧める。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・文化センターの設備を改修することにより、改修期間中の利用率は低下するが、長期的な運用に耐えられるよう施設や設備の維持・管理計画を策定し、改修を行っていく。</p> <p>・指定管理業務委託による成果があることから、今後も教育委員会事業と文化振興財団事業の連携により、住民の自主的な文化活動の支援体制を強化する。</p> <p>・文化講座の開講・運営に必要な環境を整備する。</p> <p>・達成目標とする参加者数・利用率は低下するが、安全のため十分な感染症対策を実施しながら運用する。</p>		

令和2年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑮文化活動への支援	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」 Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 文化活動団体について、地域の文化活動を支える方たちを掘り起こし、それぞれに魅力を持ちながら、会員の輪を広げていきます。 今後も、文化活動団体育成のための支援に努めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな分野から生涯学習の指導者等を掘り起こし、文化活動はもとより身近な生活課題や地域づくり等につながる学習活動の支援ができるシステムを構築する。 ○三郷町各種団体等運営補助金交付要綱に基づき、各種団体の活動及び運営に要する経費の一部を補助金として交付し、文化の振興及び向上を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ①三郷町文化協会 ②三郷町地域婦人団体連絡協議会 ③三郷町子ども会連合会 ④三郷町民文化祭実行委員会 ⑤三郷町芸術祭美術展実行委員会
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習の指導者等の活用支援 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の学級や子ども人権学習支援事業の講師等の選定に際し、地域の団体・個人と連携を図ることにより、継続した講師依頼はもとより、新たな指導者の掘り起こしができたが、新型コロナウイルス感染予防のため、各種学級は中止もしくは縮小実施となった。 ①家庭教育学級 中止 ②長寿学級 5回（文化講演2回、健康体操1回、軽スポーツ1回、音楽鑑賞1回） ③くれない学級 6回（文化講演1回、健康体操2回、創作1回、音楽鑑賞1回、調理教室1回） ④つながり学級〈三郷町子ども人権学習支援事業〉 中止 ○団体への助成 <ul style="list-style-type: none"> ①三郷町文化協会（補助金額：169,880円） <ul style="list-style-type: none"> 主な事業：総会、文化協会まつり、文化協会講演会、人権学習会及び現地での研修会を計画していたが、殆どの事業が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 ②三郷町地域婦人団体連絡協議会（補助金額：200,000円） <ul style="list-style-type: none"> 主な事業：総会、町の各事業への参加。また、老人福祉施設でのボランティア活動を実施。研修や観賞会等の主催事業を中止することとなったため、代わりに高齢者の見回りを随時行った。 ③三郷町子ども会連合会（補助金額：232,242円） <ul style="list-style-type: none"> 主な事業：総会や子ども会の日(8月8日(木))にプール遊び、どろんこあそびの会(陶芸)を感染症対策を行いながら実施。その他、啓発活動として手洗い練習スタンプ「おててボン」を会員の子どもたちへ配付した。リーダー研修会、まぜこじゃの会、子ども会大会は中止した。 ④三郷町民文化祭実行委員会（補助金額：0円） <ul style="list-style-type: none"> 主な事業：「第52回三郷町民文化祭」を10月24日(土)、25日(日)に開催の予定をしていたが、実行委員会で協議の末、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止することとした。 ⑤三郷町芸術祭美術展実行委員会（補助金額：58,020円） <ul style="list-style-type: none"> 主な事業：「第33回三郷町芸術祭美術展」を9月10日(木)～9月13日(日)に開催を予定していたが、実行委員会で協議の末、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止することとした。
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習の指導者等の活用支援 <ul style="list-style-type: none"> ・開催を中止せざるを得なかった講座もあるものの、地域の指導者等の協力を得て生涯学習を実施することで、より活発な活動に繋がった。 ○団体への助成 <ul style="list-style-type: none"> ・文化の振興、芸術の向上に寄与するため、各種団体に補助金を交付し運営の活性化を図った。 <p>【成果指標①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○三郷町民文化祭実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・三郷町民の積極的な参加を狙った、町主催行事の中でも特に大規模なイベントであったが、令和2年度は開催を中止した。【成果指標②】 ○三郷町芸術祭美術展実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年の出展品数(172点)や来場者数(920人)を超えるよう開催を計画していたが、令和2年度は開催を中止した。【成果指標③】
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R1年度	R2年度	決算額(円)	
	①各団体への補助金(文化協会・婦人会・子ども会)	会員数	人	983	949	R 1	1,083,709
②三郷町民文化祭実行委員会	参加団体数	団体	67	中止	R 2	602,122	
	来場者数	人	2,549		R 1	1,309,935	
③三郷町芸術祭美術展実行委員会	来場者数(展示会場)	人	910	中止	R 2	0	
					R 1	387,554	
						R 2	58,020

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生涯学習の各種事業実施にあたり、地域に埋もれている指導者等の人材を掘り起こすシステムづくりが必要である。 ②三郷町地域婦人団体連絡協議会については、会員数を増加し、組織力を強化する必要がある。 ③三郷町には文化活動推進を目的とする補助団体として、公益財団法人三郷町文化振興財団及び三郷町文化協会があり、文化芸術を推進する補助事業として文化祭及び芸術祭美術展がある。これまで、それぞれの団体や事業において独自に活動を続けてきた経緯があるが、現状ではいずれも会員や来場者数を確保することに苦慮しており、今後活動の連携が必要である。 ④三郷町民文化祭の運営に係る人材及び人員不足。 ⑤三郷町芸術祭美術展の目標来場者数(1,000名)の確保。 ⑥新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響下での大規模イベントの開催方法。 <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①SDGsの取り込みを促進するイベント開催。
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①文化センターで行っている文化教室などと情報交換を行い、地域の人材を把握できる体制を構築。 ②地域婦人団体連絡協議会の会員募集を引き続き広報をはじめ、いろいろなツールを活用して周知する。 ③他のイベントとの共同開催や、他団体の教室等に積極的に参加をし、交流することにより、相互の団体・事業の活性化を図る。 ④今年度は中止となったが、町の一大イベントなので全庁的な協力を依頼し、動員をかけていく。 ⑤今年度は中止となったが、今後もより一層の積極的な広報活動を行い、出展品数を増やし、来場者数が増加するよう努める。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和2年度は中止した事業が多いが、今後、文化祭等の飲食を伴う野外イベントでの「ごみ問題」を対策し、分別だけでなくリユース食器やエコ容器の代用を検討する。
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な学習活動の支援を得る中で人材の発掘及び指導者の育成を行い、将来的には分野の垣根を越えて、指導者又は講師として活躍できるよう支援する。 ・文化活動団体・個人に対し、費用面、活動場所や機会の提供等の多面的な支援の継続をしながら、団体間の交流を勧奨する。

令和2年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑯図書館の充実	担当課名	図書館 (生涯学習課)	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」 Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	・住民の生涯学習に対するニーズに応えるため、蔵書・資料の充実を図り、資料収集を継続します。 ・誰もが気軽に利用できる住民の学習、ふれあいと憩いの場とするため、各種館内サービスや行事の充実に努めます。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	○資料・情報の提供 図書、雑誌、新聞をはじめ、デジタル図書やCD・DVDなどの音響・映像資料を含む各種の図書館資料を幅広く収集し、子どもから高齢者までそれぞれの年齢層に合った資料を迅速かつ的確に提供する。また、館内のインターネットアクセス端末により図書館資料の検索等、ネット情報の提供も行う。 ○子どもの読書の推進 絵本や児童図書の利用の促進(季節やテーマに沿った絵本の面展示・表紙の展示、小中学生向け調べもの学習資料の充実)とともに、乳幼児向け(ブックスタート、ゆりかごおはなし会)、児童生徒向け(おはなし会、土曜の午後のおはなし会、夏・冬のつどい、本の森探検隊)の年齢層に合わせた行事を継続して行うことにより、子どもの読書推進を図る。 ○生涯学習事業の推進 映画上映会や童謡コンサートなど、各種講演会や演奏会を実施して、人々が集い交流する生涯学習の場を提供する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○令和2年度統計				
		R1年度	R2年度		
	蔵書冊数	254,283冊	258,025冊		
	入館者数	165,241人	69,667人		
	貸出人数	83,600人	57,711人		
	貸出冊数	252,863冊	202,135冊		
	ネット予約人数	6,278人	5,431人		
	ネット延長人数	6,128人	6,638人		
	HPアクセス数	86,521回	81,628回		
	読書通帳(累計)	4,616冊	4,969冊		
	○図書館行事				
		行事名	概要	参加人数(人)	
				R1年度	R2年度
	◇	ブックスタート	11ヶ月健診にあわせて赤ちゃんと保護者を絵本の世界に誘い、赤ちゃんの成長の手助けをする	100	120
	◆	ゆりかごおはなし会	0～2歳の幼児と保護者を対象に絵本の読み聞かせ・手遊びなど	105	—
◇	おはなし会	小さい子どもと大きい子ども向けに分けて絵本の読み聞かせやストーリーテリングなど(毎週日曜日)	690	33	
◆	土曜の午後のおはなし会	お話しボランティアによる絵本の読み聞かせや折り紙	93	—	
◆	夏のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事	62	—	
◇	映画上映会	名作映画の上映会	1,581	734	
◆	アニメ映画会	子ども向けアニメ映画の上映会	830	—	
◆	本の森探検隊	テーマを設定した本を探しながら、楽しみつつ本に親しむイベント	71	—	
◆	フロアコンサート	図書館の開架室でギターマンドリンコンサート	197	—	
◇	大人のためのストーリーテリング	大人向けにストーリーテリングの面白さを伝えるイベント	29	26	
◇	四国八十八か所講演会	四国霊場を徒歩で回られた方からの体験談の講演会	41	10	
◆	小学生一日図書館員体験	図書館業務を通して、仕事の大切さを知ってもらう	6	—	
◆	本の帯コンテスト	子供たちがお気に入りの本の帯を作成し、展示する	12	—	
◆	野菜作りの裏ワザ講演会	野菜作りに役立つ裏ワザの講演会	—	—	
◆	冬のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事	45	—	
◆	おりがみ教室	親子で一緒に折り紙を折る	21	—	
◆	手作りカード教室	親子で一緒にメッセージカードを作る	13	—	
◆	秋の朗読会	各自が選んだ本を朗読して互いに紹介する	12	—	
◆	龍田古道写真展	町内在住の写真家による龍田古道の写真展示会	—	—	
◆	ブックリサイクル	除籍済の図書資料を住民に提供	702	—	
◆	ぬいぐるみとしょかんおとまり会	ぬいぐるみと一緒におはなし会の後、図書館で遊んでいる姿をアルバムにしてプレゼント	15	—	
◆	ナースのたまごと健康体操(ピリオバトル)	信貴山看護学校生徒による健康体操及びお薦め図書の発表会	20	—	
◆	歌のつどい	皆で童謡を歌える場所を提供する	159	—	
◆	童謡コンサート	武鹿悦子先生作詩の童謡・唱歌の演奏会	—	—	
◆	クリスマスコンサート	町内コーラス団体等による演奏会	180	—	
		計	4,984	923	
※◆マークは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止、◇マークは一部中止した行事					
○リクエスト・相互貸借サービス 図書館で所蔵していない図書の申込みに対して、購入もしくは近隣図書館からの貸借を行い、提供している。近隣の図書館と提携することで、既に絶版の本や長編シリーズなど、購入できない図書を迅速に提供する。また、町民が県立図書情報館で借りた図書を当館のカウンターで、返却できるサービスを実施している。					

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。
	<p>○資料情報の提供 話題の図書などに常に注意しながら、可能な限り住民のリクエストなどの要望に応えるよう予算の範囲内で各種資料の内容充実が、資料購入数は前年度に比べ、182冊(枚)の減少となった。 3月から貸し出しを開始したデジタル図書については、貸し出し及び返却時の来館の必要がなく、現在のような感染症流行時や病気等の理由により外出できない場合においても、24時間、手軽に遠隔による図書館利用が可能である。また、書籍を持ち運ぶことなくスマートフォン等で手軽に読書を楽しむことができるという利点からも、今後の需要が見込まれるものとする。【成果指標①】</p> <p>○子どもの読書推進 2年度は新型コロナウイルスの影響を受け、子ども向けの事業の多くが中止もしくは縮小実施となった。コロナが落ちついた9～10月に「おはなし会」を再開したものの参加者は少なく、その後、第二波がきたため、以降の年度内の開催は中止とした。一方、「ブックスタート」は実施したが、前年度より参加者数が増加した。【成果指標②】</p> <p>○生涯学習の推進 他事業と同様に、新型コロナウイルスの影響で行事が相次いで中止もしくは縮小実施となり、参加者数は大幅減少となった。なお、上映会については、参加者が声を発さずマスクを着用していることに加え、席数を1/3に限定し、密を避けることにより感染リスクを抑制し、10月より再開した。【成果指標③】</p>

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R1年度	R2年度	決算額(円)	
	①資料情報の提供		図書・雑誌・CD・DVD等購入数	冊(枚)	6,636	6,454	R1
R2							9,676,023
②子どもの読書推進		参加者数	人	2,063	153	R1	104,720
						R2	160,930
③おとなの読書推進		参加者数	人	2,921	770	R1	50,000
						R2	0

③事業の課題	【継続的な課題】
	①コロナ禍により減少した入館者数の回復。
	【新たな課題】
	①コロナ禍も含め、何らかの理由で「図書館に来れない方」に対する読書環境の提供。

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	【継続的な課題に対する改善方法及び結果】
	<p>①2年度は近隣府県における新型コロナウイルスによる緊急事態宣言を受け、4～5月を休館とし、6月以降は限定開館(開館時間短縮・イベントの中止・椅子の撤去による滞在時間の減少等)を実施したこと及び不要不急の外出を控える点からも入館者数が前年度に比べ、大幅に減少したものの、貸出冊数はわずかな減少にとどまったことから、住民の読書に対する関心が高さが窺えた。 このことから、家で過ごす時間に「読書」を有効活用してもらうために、図書館における感染予防対策を徹底し、利用者が安心して来館できるよう「入口での測温等体調チェック」「手指消毒とマスク着用の徹底」及び「返却本の消毒」などを行った。</p>
	【新たな課題に対する改善方法の検討】
	<p>①新型コロナウイルスの影響で外出を控える方が多い中、自宅にいながらスマホやパソコンを通して、読書を楽しんでもらえるよう、3月から「電子図書館」を開始した。今後は電子図書館のコンテンツを充実させることでコロナ禍でも安全に読書を楽しみ、また、さまざまな事情により外出できない方等、より多くの方に読書環境を提供する。併せて、病気や障がい等で図書館に来れない方には、自宅に本を郵送する「郵送貸出」も実施し、誰もが読書を楽しむことができる環境を整える。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・ 町民に対して十分な資料や情報を提供できるよう、図書館の基本的業務の履行はもとより、様々な行事を通じて図書館の魅力を最大限にアピールし、「三郷町まちづくり総合戦略」の目標達成を目指す。また、生涯教育の推進を始め、ひとりでも多くの人が憩いの場として利用できる図書館の環境づくりを積極的に進める。</p> <p>・ 利用者の意見や要望を真摯に受け止め、利用者一人ひとりが満足できる図書館となるよう、充実した資料の収集や豊かな情報の提供に努める。</p> <p>・ 年齢、性別、そして障がいの有無にかかわらず、本をいつでも、どこでも、それぞれのニーズに応じた方法で提供できる図書館づくりに努める。</p>		

令和2年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	①文化財の保護と活用	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県と連携しながら文化財保護に努め、案内看板・説明看板の整備など環境の整備に努めます。 ・民間団体による調査活動を支援するとともに、住民団体と協力して歴史的資料の発掘及び保全・管理をするための調査を進めます。 ・文化財の保全・管理・展示を行う郷土資料室のあり方について検討します。 ・文化財ボランティアの育成に努めながら、地域の歴史にふれる機会の充実に努めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>◎文化財の保護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後世に継承すべき文化財の保護保存をしていくため、国・県等の関係機関と連携を図りながら町内の文化財の確認作業及び指定文化財等への保存助成、環境整備を行う。 <p>◎文化財の啓発・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の文化財について、町内外の方々に広く周知できるよう企画立案する。 ・文化センター内に設置している「郷土資料室」の有効な活用を図る。 ・龍田古道等の歴史遺産の日本遺産登録。 <p>○地域の歴史学習の機会の提供等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の一環として、地域の歴史を学ぶ教室を開催する。また、歴史・文化財に係る地域のグループ等がより充実した活動ができるよう協力・支援する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>◎文化財の保護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、3月16日付で三郷町指定有形文化財として龍田大社所蔵の「木造獅子・狛犬2対(4軀)」を指定。また、指定文化財の保存及び活用については、その所有者と連携を図り、適切に対応した。 ・遍照院シダレザクラ(町指定)の樹木消毒にかかる維持管理経費の一部助成を実施。 ・奈良県からの委嘱により、定期的に町内文化財の巡視及び適宜適切な保護を実施。 ・町内の開発事業等に際し、奈良県文化財保存課と連携し、埋蔵文化財の保護を目的とした届出の窓口業務や簡易な事前調査を実施。 ・奈良県内市町村埋蔵文化財技術担当者連絡協議会に正式に加盟し、埋蔵文化財業務の他市町村との連携を図った。 <p>◎文化財の啓発・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柏原市と共同で申請を行っていたストーリー「もう、すべらせない!!～龍田古道の心臓部「亀の瀬」を越えてゆけ～」が98番目の日本遺産認定を受けた。これにより、9月4日に日本遺産「龍田古道・亀の瀬」推進協議会を立ち上げ、当協議会において文化庁の補助事業を始め、日本遺産に関わる事業を行うこととなった。 ・奈良県の文化資源活用補助金を活用し、近鉄信貴山下駅前広場に日本遺産認定記念として山上憶良歌の万葉歌碑を建立。監修と揮毫を奈良女子大学名誉教授の坂本信幸先生に依頼し、合わせて除幕式と記念講演会を開催した。 ・令和2年度の町立小学校副読本の改訂に際し、日本遺産に関連する項目を追記掲載した。 ・三郷小学校児童の文化センター郷土資料室見学の際に、「史学さんごう」及び学校ボランティアの協力を得て、農具や古民具について説明し、児童の学習活動に貢献した。 ・令和2年度に開催を予定していた萬葉学会全国大会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、令和4年度に延期した。 ・Yuki子どもアトリエで製作している「龍田百人一首」の編集及び制作協力。 <p>○文化・歴史学習の機会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の学級である「歴史教養講座」と「みさと万葉学習会」は、4月開講を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のために7月開講となり、内容も現地学習を中止して座学の講義が中心となった。
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○文化財の保護・啓発・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産認定を受け、文化財の活用を今後観光事業と連携した形で整備していく体制が出来た。また、日本遺産事業と併行して、本町及び大阪府柏原市並びに大和川河川事務所との連携が大きく進展した。 【成果指標①】 ・龍田大社所蔵の「木造獅子・狛犬2対(4軀)」を町有形文化財に指定し、今後の保存活用計画に道筋をつけることが出来た。また、その他の指定文化財に係る維持管理に伴う経費を効率よく助成することができた。 【成果指標②】 ・近鉄信貴山下駅前広場に町内で5つ目の万葉歌碑を建立し、日本遺産と結びつけたことにより、今後、信貴山下駅前を観光拠点として、龍田古道のウォーキングやイベントの会場として活用していく。 【成果指標③】 <p>○学級の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史教養講座」は58人(前年度と同数)、「みさと万葉学習会」は72人(前年度より7人減)の登録があった。
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R1年度	R2年度	決算額(円)
	①日本遺産に関する事業 ※決算額は三郷町の負担金のみ	文化財の活用	件	—		1
②新たな町指定文化財の指定	町指定文化財の数	件	12		13	R 1 R 2
③万葉歌碑の設置	歌碑・説明看板の設置	件	4		5	R 1 410,850 R 2 1,136,500
						R 1 R 2

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①指定文化財に修理等の必要が生じた際の所有者の負担に対する国・県・町の各補助制度はあるが、現状は所有者の負担が大きく、指定文化財を維持していくには所有者の理解と協力が長期間にわたって必要なことから、所有者の負担を極力軽減する施策の検討が必要である。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①日本遺産認定を受けたことにより、今後、文化財保護・活用事業と観光事業との連携が求められ、業務量の大幅な増加が見込まれる。今後は、日本遺産の事業の中で、三郷町だけでなく大阪府柏原市や国土交通省の大和川河川事務所との更なる連携が求められるほか、文化庁や奈良県からも文化財行政そのものの拡充が求められることが予想される。講演会や寄稿が求められる機会も増加するほか、埋蔵文化財の発掘などの学術的な調査も更に必要となることから、三郷町として文化財保護・活用に対応する体制づくりの強化を要する。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症対策のため、例年行われていた講演会やイベントが中止となったほか、生涯学習の学級の開催方法も変更と工夫を余儀なくされている。今後、文化財に関する事業においてもWithコロナを意識した実施方法の検討が必要となる。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①文化財の所有者と教育委員会で定期的に意見交換を行い、現状確認を行う。また、所有者負担が過剰にならないよう、国・県に対して補助を要望するとともに、町の補助制度の拡充及び見直しも検討する。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①日本遺産の認定を受けて、文化財の活用業務そのものが観光業務として扱われるようになるため、まずは組織の再編と業務分担の見直しが必要となる。同時に、三郷町の歴史・文化財に精通した専門職員を育成するため、奈良県や奈良文化財研究所との連携の中で職員の育成を図る。また、三郷町内での発掘調査等を見据えて、必要となる測量機器などの器具類や倉庫となる施設などを整備する。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症対策を講ずる上で、多くの人が集まる事業実施が難しい状況となっている。観光事業においてもマイクロツーリズムが見直されているように、文化財事業でもアプリを活用した案内システムの構築や少人数制の活動を模索していく。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・日本遺産の協議会が立ち上げに伴い、大阪府柏原市を含めた文化財の活用と観光事業を行うことになる。また、令和6年度までに施設整備を含め、大規模なハード事業が行われていく中で、これまでの活動を継続するための人材育成や体制強化が必要となることから、専門的な職員の育成や観光ボランティアの育成及び組織の体制づくりが急務となる。また、文化財の活用とともにその保存事業についても、国や県から厳しく見られることになるため、埋蔵文化財業務を始めとした文化財の保存・調査を行うための体制も必要となり、文化財保存活用地域計画の策定を求められている。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症対策のため、文化財業務も大きく影響を受けているが、今後のWithコロナを見据えて、観光事業と連携した迅速な準備が必要となる。</p>		

令和2年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑩生涯スポーツの推進	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 誰でも継続的に気軽に楽しめるスポーツの機会を提供するため、指導者やボランティアリーダーの育成に努めます。 健康づくりや交流の場となる軽スポーツの普及に努めます。 青少年のスポーツ活動の振興を図り、そのための環境整備や自主的な活動への支援に努めます。 				

2 事業概要・目的(PPLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツの推進 <ul style="list-style-type: none"> スポーツを通して町民が生涯にわたり心身ともに健康な生活を営むため、三郷町体育協会や三郷町スポーツ少年団及び三郷町スポーツ推進委員などと連携し、スポーツを推進するとともに、身体づくり及び健康づくりを図る。 ○軽スポーツ事業 <ul style="list-style-type: none"> 自分にあったスポーツライフの実現と競技の技量を身につけてもらえるように、各種軽スポーツ大会等を実施する。 ◎総合型地域スポーツクラブへの支援 <ul style="list-style-type: none"> 住民の主體的な運営により、すべての世代の住民が楽しめる総合型地域スポーツクラブ「元気☆ひまわりクラブ三郷」が自立して運営できるよう支援を行う。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツの推進 ①町民マラソン・駅伝大会の開催 地域住民がイベントを通じてスポーツに親しみながら、健康増進することを目的として、三郷町スポーツ少年団や各種団体の協力のもと、三郷町体育協会主催で町民マラソン・駅伝大会(於：竜田運動公園)を1月26日(日)に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。 ②野球審判講習会 盛んなスポーツのひとつである野球の試合等の審判及び指導者の育成を行うとともに、ルール等の改正にも適宜対応できるよう、7月12日(日)に審判講習会を開催した。 ③関係団体に補助金の助成 【三郷町体育協会】 補助金額 1,566,542円 【三郷町スポーツ少年団】 補助金額 624,306円 ④三郷町スポーツ推進委員 スポーツ振興のため、子ども人権学習支援事業などに出向き、住民に対しスポーツの実技指導等を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。 ⑤軽スポーツ事業 三郷町体育協会主催で9月13日(日)に「軽スポーツ大会」を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。 ⑥総合型地域スポーツクラブへの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・スポンサーの確保 ・教室開催場所(グラウンド)の優先確保 ・教室の夜間開催 7教室 272回開催 延べ参加者 2,206名 ・教室の土曜開催 2教室 44回開催 延べ参加者 379名 また、同クラブの主な事業となる各種教室については、未就学児・小学生向けのキッズダンスやジュニアサッカー、ジュニアテニス、また、一般・シニア世代向けにノルディックウォーキング、太極拳や様々な種類のヨガ教室など40教室を展開。 全ての教室における開催回数は延べ1,257回で、参加人数は延べ9,017人。
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○関係団体への補助金による助成 ・「三郷町体育協会」及び「三郷町スポーツ少年団」に運営補助金を交付し、組織の育成及び強化を図った。【成果指標①②】</p> <p>◎総合型地域スポーツクラブ ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4～5月が休講となった影響で、年間の教室参加人数は減少した。6月より事業が再開し、当初は会員数の目標を370人としていたが、300人に修正。各教室の未参加者数への集客を図ったが、実績は289名となった。【成果指標④】</p>
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R1年度	R2年度	決算額(円)
	①三郷町体育協会事業	参加人数	人	1,843	750	R 1 2,259,839 R 2 1,566,452
②三郷町スポーツ少年団事業	参加人数	人	182	110	R 1 722,418 R 2 624,306	
③町民体育祭	競技参加人数	人	中止	中止	R 1 569,776 R 2 0	
④総合型地域スポーツクラブ事業	教室参加人数	人	9,404	9,017	R 1 R 2	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①総合型地域スポーツクラブの運営にスポーツくじ助成金を平成27年度から5年間受けていたが、令和元年度で完了した。令和2年度以降については、新たに3年間の助成金を受けるものの、従前の半分程度に減額となることから、今後の運営はより厳しくなっている。助成金の交付が完了するまでに、継続的な自立運営ができるよう、教室の実施場所や人材の確保、クラブ運営システムの確立が必要である。</p> <p>【新たな課題】</p> <p>①新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の諸対策により、今後も全ての事業が影響を受けることが予測される。状況に適応すべく、運営方法等を模索していく必要がある。</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①現状の文化センター主体の教室運営を行う場合、施設の優先利用及び施設使用料減免等の検討が必要となる。また、文化センターの一般の利用者との関係で、これまで以上の優先利用が難しい部分もあることから、他の施設を利用した教室運営も検討していく。</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①スポーツ活動と感染症対策を両立した新たな運動スタイルを模索していく。</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <p>・総合型地域スポーツクラブ「元気☆ひまわりクラブ三郷」の自立運営を目指し、新たな種目の追加をはじめ、町が進める健康づくり・介護予防につながる教室の検討や感染症対策も兼ねたりリモート教室等の開催により、クラブ入会に係るPRを積極的に実施。</p> <p>・各団体において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止体制の中での活動を意識し、情報共有を行う。</p> <p>・総合型地域スポーツクラブ等を活用し、中学校の部活動指導を段階的に地域移行していく。</p>

令和2年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑬スポーツ施設の整備	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの方が気軽に生涯スポーツを楽しめるよう、現有施設の有効利用を図り、誰もが利用しやすい施設改善を図ります。 ・自主的・主体的な総合型地域スポーツクラブの運営を支援をします。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の整備・充実を図るとともに、生涯スポーツと競技スポーツを連携し、運動能力向上の拡充に努めることを目的に、地域スポーツの振興と拡大を図る。 ○指定管理制度の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・民間の経営や事業展開のノウハウを活用し、より充実したスポーツ施設の管理運営を行うため、スポーツセンター及びウォーターパークを合わせて指定管理により運営する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・経年による各施設の維持修繕が必要になっていることから、随時、修繕及び改修を行い、施設利用に支障のないよう安全安心な施設運用を行った。 ①竜田運動公園 <ul style="list-style-type: none"> 利用種目：成人及び学童軟式野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、サッカー、テニス等 施設整備：テニスコート砂補充、真砂土入替、トイレ手洗場自動水栓化、側溝改修 斜面応急復旧(大雨による斜面崩落)、東西ネット修繕 (決算額：7,458,356円) ②勢野グラウンド <ul style="list-style-type: none"> 利用種目：学童軟式野球、女子ソフトボール、少女ソフトボール 施設整備：真砂土入替、トイレ手洗場自動水栓化 (決算額：403,560円) ③スポーツセンター <ul style="list-style-type: none"> 利用種目：卓球、軽スポーツ、少林寺拳法、健康体操、バレーボール等 施設整備：カーボンマネジメント強化事業(事務所及びアリーナエアコン入替、施設内照明LED化) (決算額：59,238,300円) ④ウォーターパーク <ul style="list-style-type: none"> 施設整備：ガセットプレート改修、屋外プールサイド改修、屋内プール槽改修、トイレ洋式化 トイレ手洗場自動水栓化、屋内プール監視カメラ取替 (決算額：13,509,100円) ⑤中央公園多目的広場 <ul style="list-style-type: none"> 利用種目：成人及び学童軟式野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、サッカー等 施設整備：グラウンド凍結防止、トイレ手洗場自動水栓化、軽トラック修繕 (決算額：1,821,384円) ○指定管理制度の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・民間のノウハウを活かし、効率的かつ効果的な施設運営を行うため、平成30年度から5年間スポーツセンター及びウォーターパークを合わせて(株)翔成へ指定管理業務を委託。 (指定管理料 平成30年度～令和4年度 112,417,000円)
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・国のカーボンマネジメント強化事業を活用して、スポーツセンター施設内照明LED化及び空調入替工事を実施。また、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、各スポーツ施設のトイレ手洗い場の自動水栓化工事やウォーターパークのプールサイド及びプール槽の改修工事を実施した。その他、老朽に伴う修繕や施設改修を行い、安全で安心な施設運営を図った。 ○スポーツ施設の運用 <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーターパークの町民限定利用など、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、利用者の体力の維持・増進や健康で明るい生活の充実、また、利用者同士の親睦に寄与した。 ○指定管理制度の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度以降、ウォーターパーク及びスポーツセンターを合わせて指定管理とし、民間のノウハウを活かして、効率的・効果的な施設運営と経費の削減が図れている。なお、現行の指定管理業務委託は、平成30年度から令和4年度までの5年間で引き続き(株)翔成に委託。))
-------------	--

	施設名	成果指標名	単位	R1年度	R2年度
②成果指標	①健民グラウンド	利用者数	人	25,580	20,631
	②テニスコート	利用者数	人	8,366	3,602
	③中央公園多目的広場	利用者数	人	40,256	24,805
	④勢野グラウンド	利用者数	人	2,632	2,385
	⑤スポーツセンター	利用者数	人	84,218	50,932
	⑥ウォーターパーク	利用者数	人	53,200	14,621

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①施設の維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・各施設の経年劣化による不具合や故障が頻繁に発生し、維持管理が困難になっているため、計画的な施設改修等が必要である。 ②総合型地域スポーツクラブの自主運営には、教室数及び会員数を増加させる必要があるが、新教室を開講する場所がない。 <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①新型コロナウイルス感染症拡大防止のために利用制限がかかっていることから、スポーツの機会を提供するための施設運用に工夫が必要である。
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①施設改修等については、財政状況を勘案し、緊急性の高いものから計画的に改修等を行う。今後は令和2年度に長寿命化計画を策定し、それに基づき修繕を行っていく。 ②総合型地域スポーツクラブの自主運営に向けて、学校開放制度を有効活用した。引き続き、その他の施設の空いている場所・時間を有効活用していく。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①各施設(部屋)の定員を減じて設定するとともに感染症対策備品の充実し、感染リスクを軽減する。利用者の理解と協力を得ることができる施設運用システムを構築する。
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し		(内容)	<input type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大	<input type="checkbox"/> 事業縮小
			<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に策定したスポーツセンター、ウォーターパークの長寿命化計画に沿って、長期的な運用に耐え得る施設や設備の維持管理・改修を行っていく。 ・感染症対策と施設使用のニーズのバランスをとりながら運用していく。 				

IV 学識経験者の知見の活用

1. 点検評価有識者：奈良学園大学 副学長 金山 憲正

令和2年度実施分の点検・評価を行うにあたり、客観性を確保するため、学識経験者に点検評価を依頼し、今年度の報告書の総括と次年度以降に改善すべき課題として、以下の指導及び助言を受けた。

2. 指導・助言の内容

- 教育に関する施策及び事業が前年度の「見直し」を基に計画的に実施され、それらの取り組みに対する点検・評価が全般にわたり、詳細且つ適切に行われている。
- 「三郷町教育大綱」の基本目標となる「子育てなら三郷町」・「教育なら三郷町」・「住み続けるなら三郷町」の3つの基本目標のもとに19の「点検・評価項目」を設定し、それぞれの項目ごとの目標達成に向けた取り組みが計画的で充実した施策の一環として実施されていることが点検・評価シートに明確に示されている。
- 各事業の推進にあたっては、「計画」→「実行」→「点検」→「見直し」のいわゆるPDCAサイクルにおいて「点検」した結果、明らかになってきた課題を「継続的な課題」と区別し、それぞれの課題に対して具体的な「改善方法」のもとで取り組みを進めているところは、胸を張って広報できるものであると考える。
- この「教育に関する事務の点検及び評価報告書」が義務的に処理されるといった形骸化したものではなく、日々の取り組みが三郷町の教育活動の充実・発展を目指した熱い思いで進められている証であると言えよう。

令和3年8月23日

金山 憲正